

地域住民の移動実態・ニーズの把握結果

1 桶川市内循環バスに関する市民アンケート調査

桶川市内循環バスに関する市民アンケート調査は、市民の日常的な交通行動、市内循環バスの利用状況やサービスに対する満足度・改善要望及び公共交通の維持・確保意向等を把握し、今後の市内循環バスの見直しを検討するに当たっての基礎資料として活用するために実施した。

調査対象者	住民基本台帳から無作為抽出した 15 歳以上の市民 3,000 人																			
調査方法	郵送配布、郵送回収																			
調査日	平成 28 年 9 月 30 日（金）～平成 28 年 10 月 12 日（水）																			
調査項目	①回答者の属性（性別、年齢、職種、居住地、運転免許証の有無、自動車所有状況、J R 桶川駅への交通手段） ②移動に対する現在の外出状況及び将来の不安度（目的別） ③日常的な交通行動について ○外出目的別交通行動（主な行き先、交通手段、外出頻度） ○外出する時に困ることの有無と困っている時の外出目的と行き先、対応方法 ○運転に対する考え方と運転継続年齢（自動車を運転される方のみ） ④市内循環バスの利用状況・要望等について ○利用状況について（利用頻度、利用する路線、利用目的） ○上尾市コミュニティバスとの乗継についての社会実験について ○市内循環バスを利用しない理由、サービスが改善された場合の利用意向 ○運行サービスに対する満足度、改善要望 ○循環バスの利便性向上に対する運行経費等の負担増に対する考え方 ○市内循環バスを含む公共交通の効果的な公共交通の利用促進策																			
回収状況	回収票数 1,302 票（回収率 43.4%） <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>回収票数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅東側周辺</td> <td>208 票</td> </tr> <tr> <td>駅西側周辺</td> <td>276 票</td> </tr> <tr> <td>日出谷地区</td> <td>286 票</td> </tr> <tr> <td>坂田地区</td> <td>242 票</td> </tr> <tr> <td>加納地区</td> <td>132 票</td> </tr> <tr> <td>川田谷地区</td> <td>132 票</td> </tr> <tr> <td>住所無回答</td> <td>26 票</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,302 票</td> </tr> </tbody> </table>		地区	回収票数	駅東側周辺	208 票	駅西側周辺	276 票	日出谷地区	286 票	坂田地区	242 票	加納地区	132 票	川田谷地区	132 票	住所無回答	26 票	合計	1,302 票
地区	回収票数																			
駅東側周辺	208 票																			
駅西側周辺	276 票																			
日出谷地区	286 票																			
坂田地区	242 票																			
加納地区	132 票																			
川田谷地区	132 票																			
住所無回答	26 票																			
合計	1,302 票																			

■市民アンケート調査の地区区分

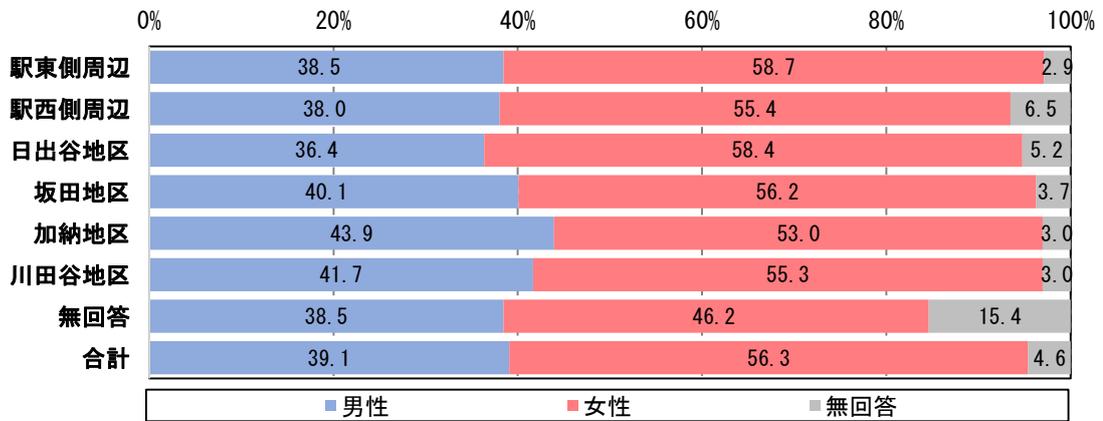


（注）比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

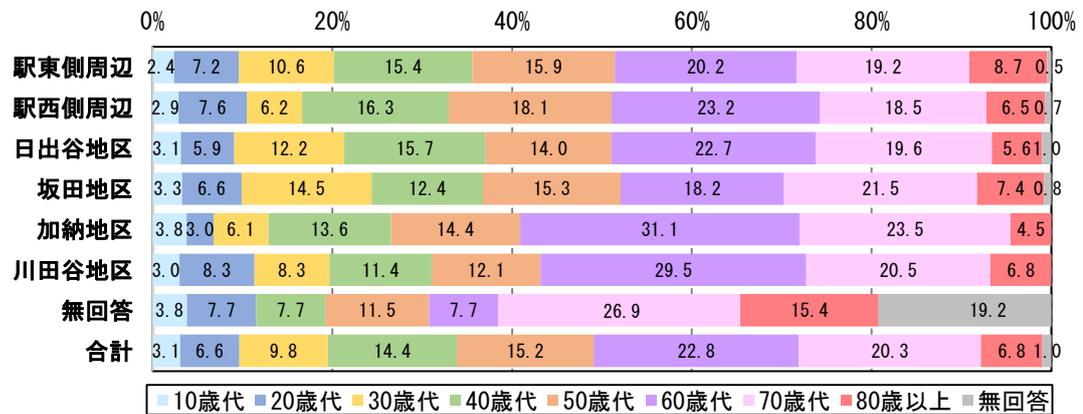
(1) 回答者の属性

- ・性別は男性が39.1%、女性が56.3%と女性の割合が、年齢は60歳以上の方が49.9%と高く、職業は会社員・公務員が26.3%、無職が23.9%、専業主婦(夫)が22.6%と高い。
- ・自動車運転免許の有無は、持っていると回答した方が70.1%と高く、自動車の所有状況は「家族共有の自動車がある」と「自分専用の自動車がある」方がそれぞれ40.0%、39.7%を占め、同程度となっている。
- ・自宅からJR桶川駅までの交通手段は、JR桶川駅に近い駅東側周辺と駅西側周辺では「徒歩」、日出谷地区と加納地区では「路線バス」、坂田地区では「バイク・自転車」、では川田谷地区では「自家用車を運転」がそれぞれ高くなっている。市内循環バスの割合が高い地区は、加納地区と川田谷地区である。

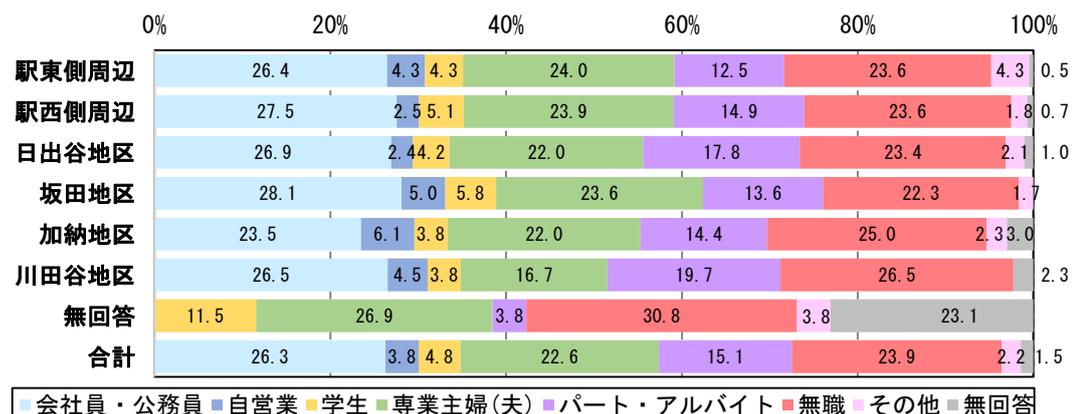
■性別



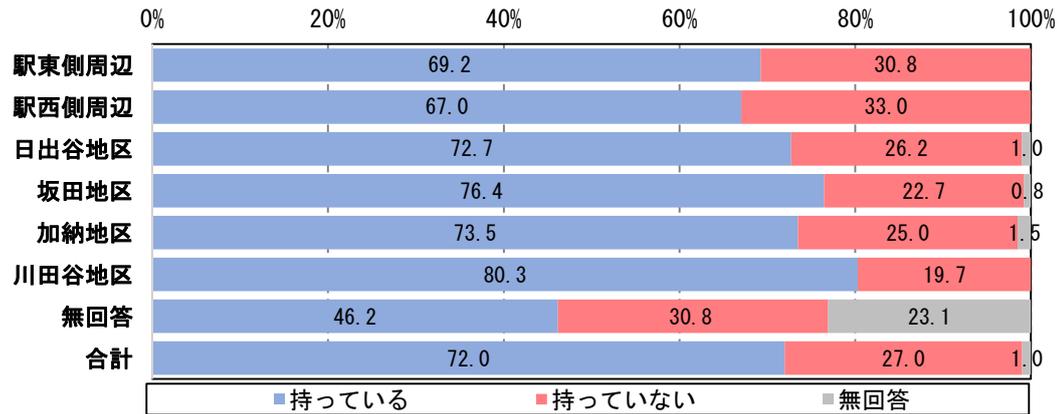
■年齢



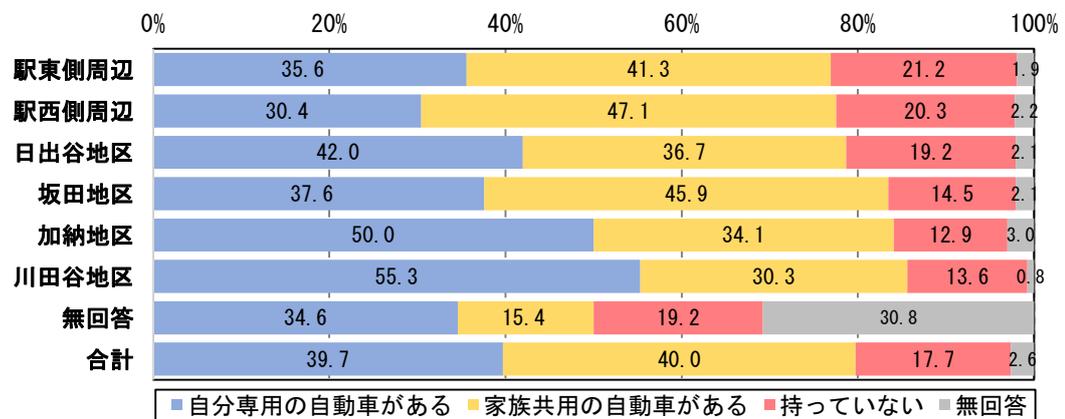
■職種



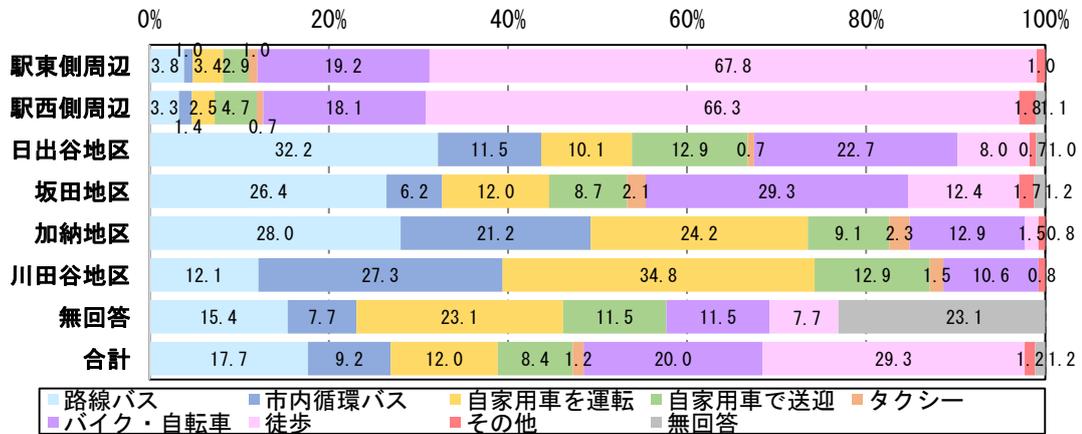
■自動車運転免許証有無



■自動車の保有状況（自動車運転免許証を持っている方のみ）



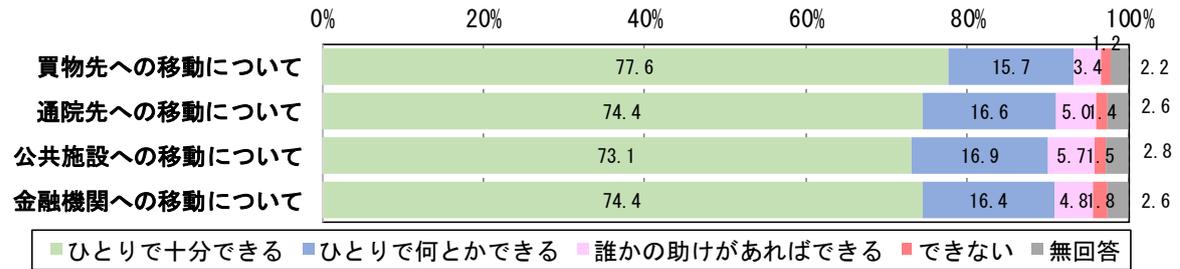
■JR桶川駅までの交通手段



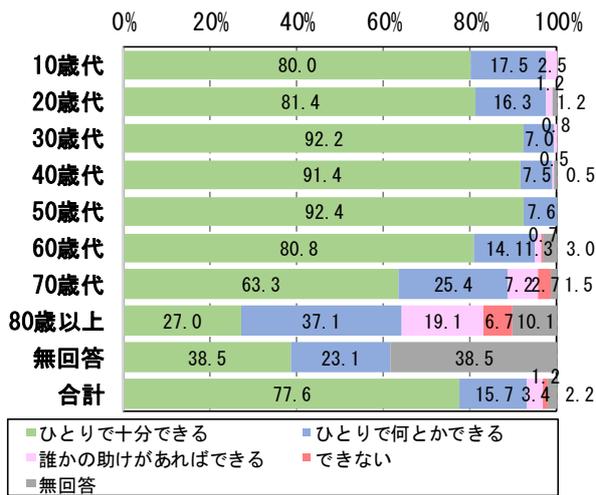
(2) 外出時における現在の移動状況及び将来の移動に対する不安度

- ・外出時における現在の移動状況は、各目的とも「ひとりで十分できる」と「ひとりで何とかできる」の合計が約9割を占めており、「誰かの助けがあればできる」が3～6%、「できない」が1～2%となっているが、80歳以上では「誰かの助けがあればできる」が17～25%、「できない」が7～14%と高くなっている。
- ・将来の外出に対する不安度は、各目的とも「不安がない」が41～46%、「不安がある」が39～45%とやや「不安がない」方が高くなっているが、60歳以上では「不安がある」と回答した方の割合が50%よりも高く、高齢になる程、不安を抱える割合が高くなっている。

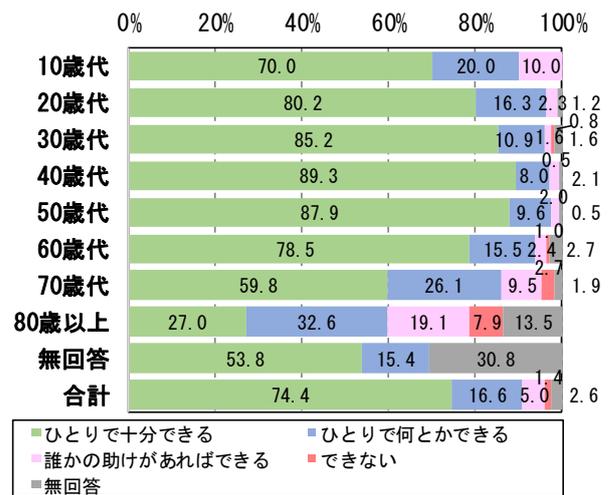
■現在の外出状況



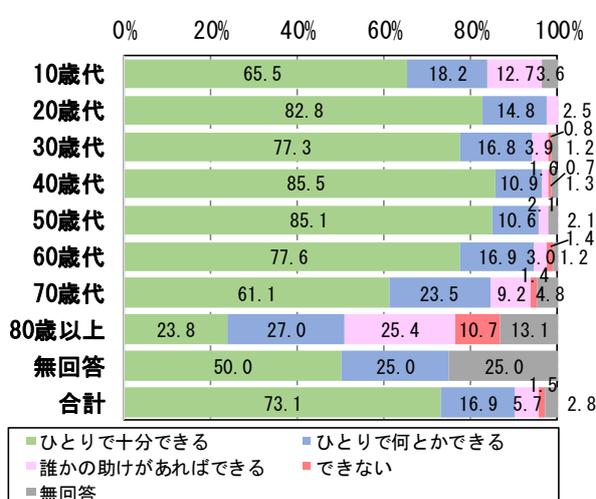
[買物先への移動について]



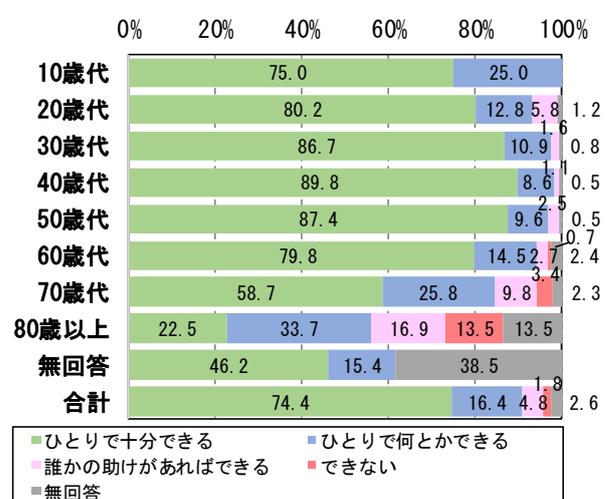
[通院先への移動について]



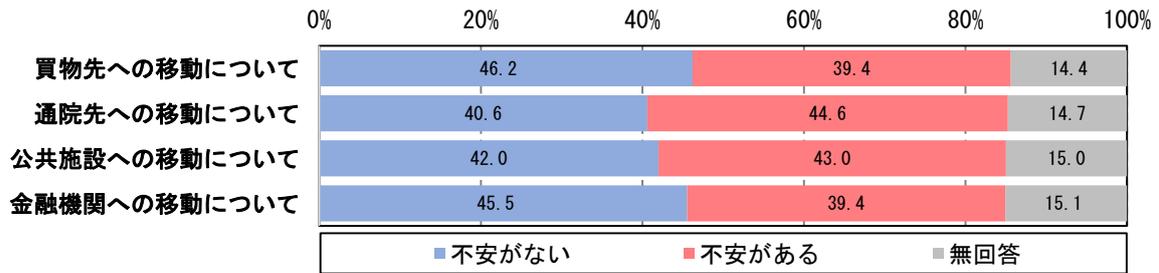
[公共施設への移動について]



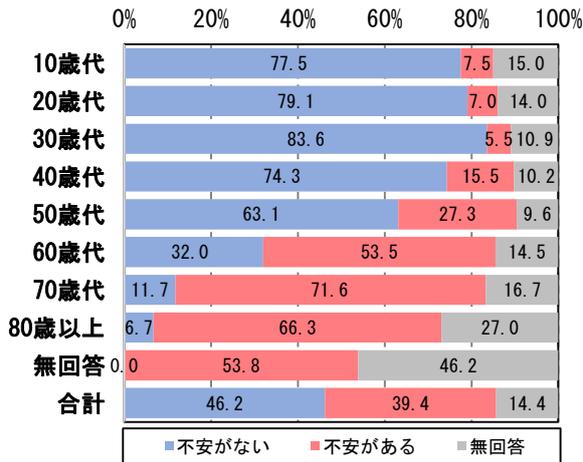
[金融機関への移動について]



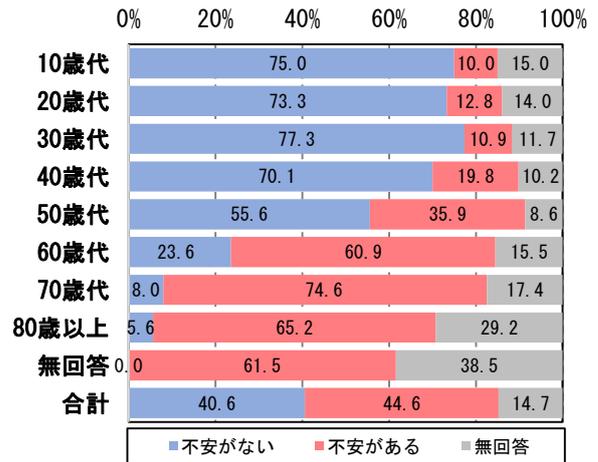
■将来の外出に対する不安度



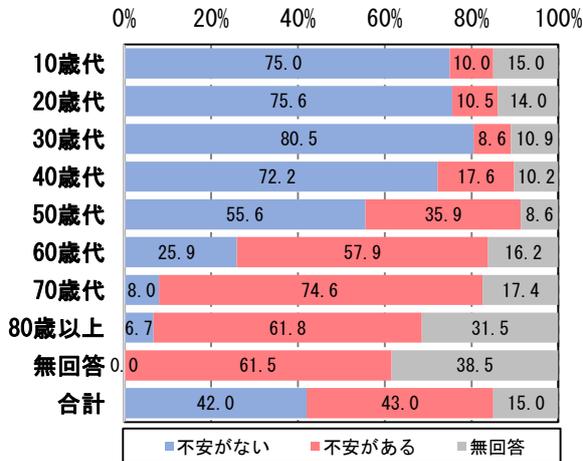
[買物先への移動について]



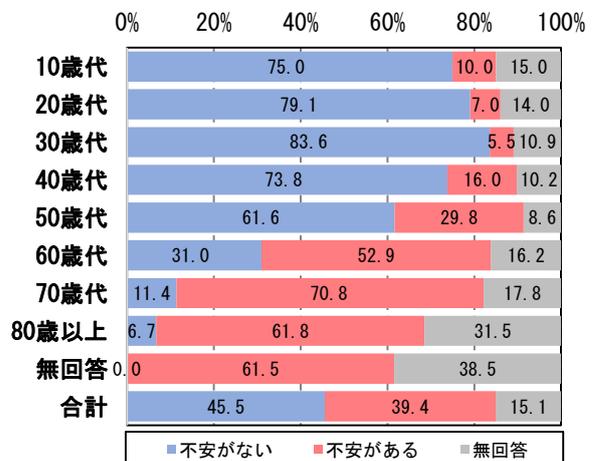
[通院先への移動について]



[公共施設への移動について]

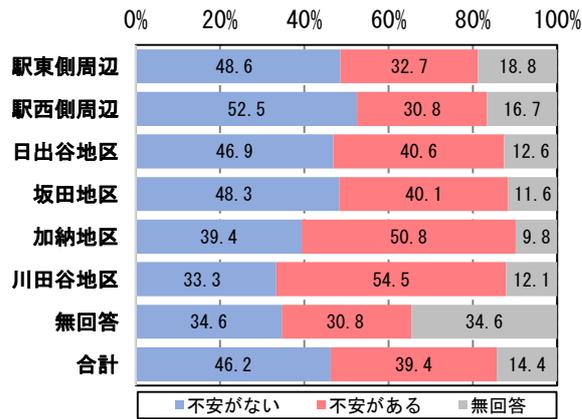


[金融機関への移動について]

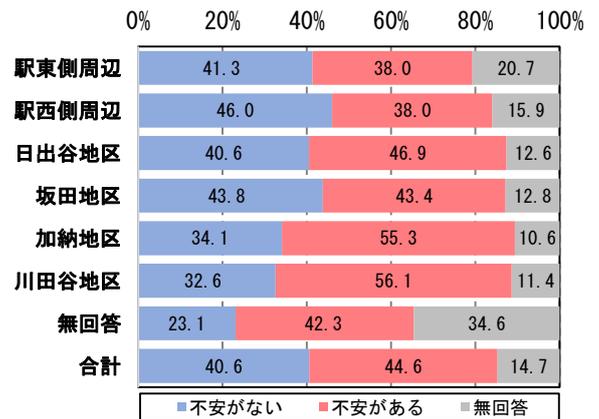


■地区別将来の外出に対する不安度

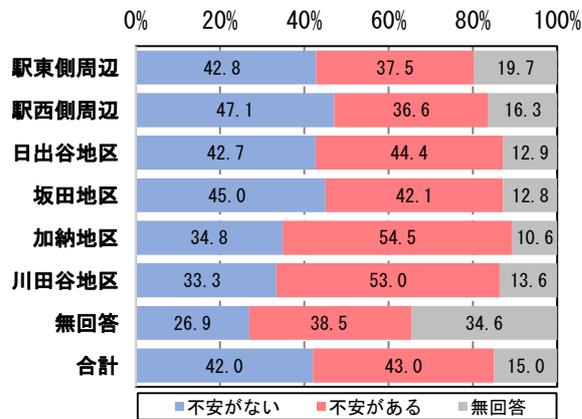
[買物先への移動について]



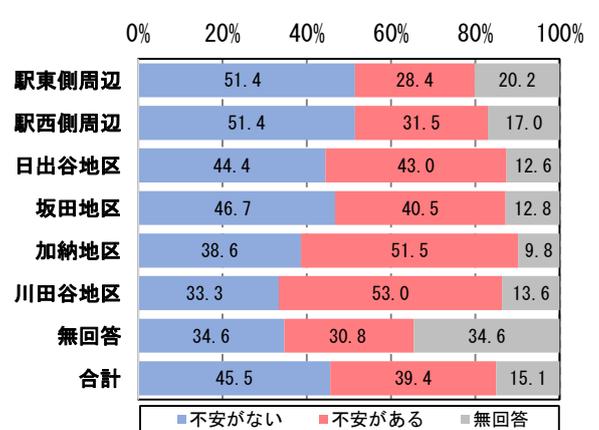
[通院先への移動について]



[公共施設への移動について]



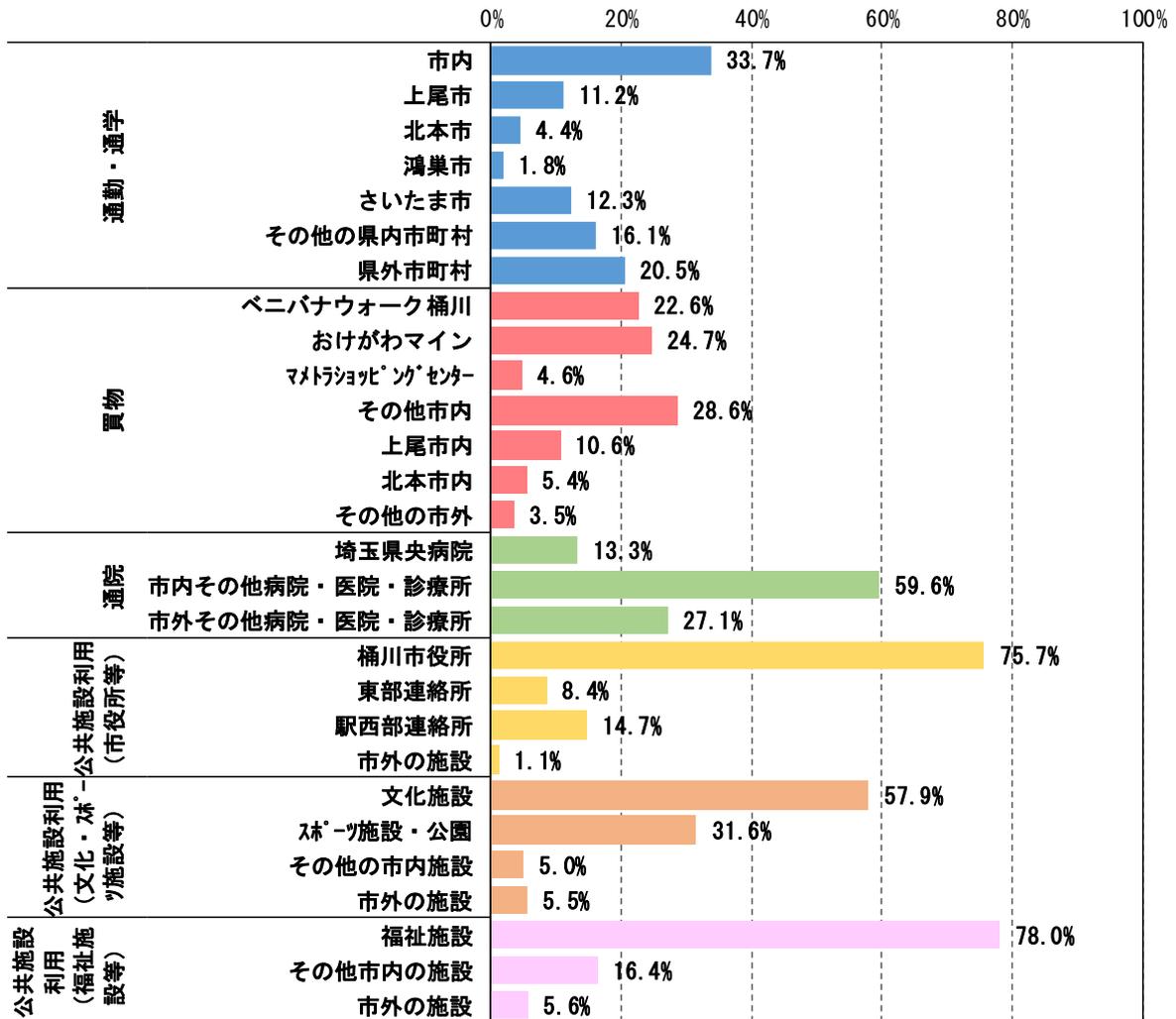
[金融機関への移動について]



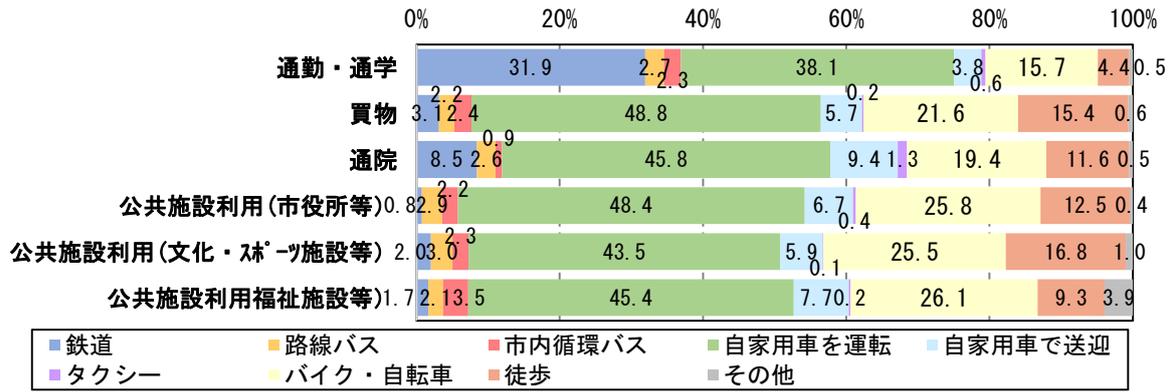
(3) 日常の外出行動について

- ・主な行き先は、通勤・通学では市内、県外市町村、買物ではその他市内、通院では市内のその他市内病院、公共施設利用では桶川市役所、福祉施設が多い。
- ・主に利用している交通手段は、通勤・通学では「鉄道」と「自家用車を運転」がそれぞれ31.9%、38.1%と高く、買物、通院及び公共施設利用では「自分で車を運転」が44～49%と高く、次いでバイク・自転車や徒歩となっている。市内循環バスの利用割合が多い目的は、福祉施設等の利用が一番高くなっている。
- ・外出頻度は、通勤・通学、買物、文化・スポーツ施設利用の順で頻度が高くなっている。

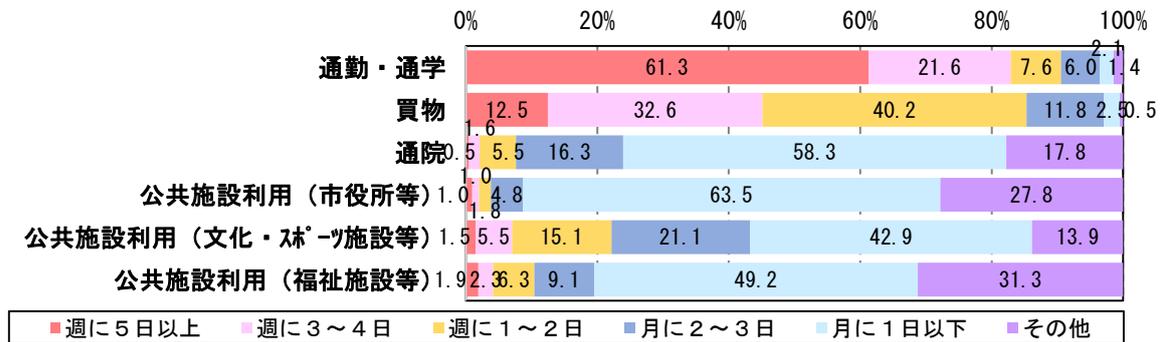
■外出目的別の主な行き先



■外出時の主な利用交通手段



■外出頻度

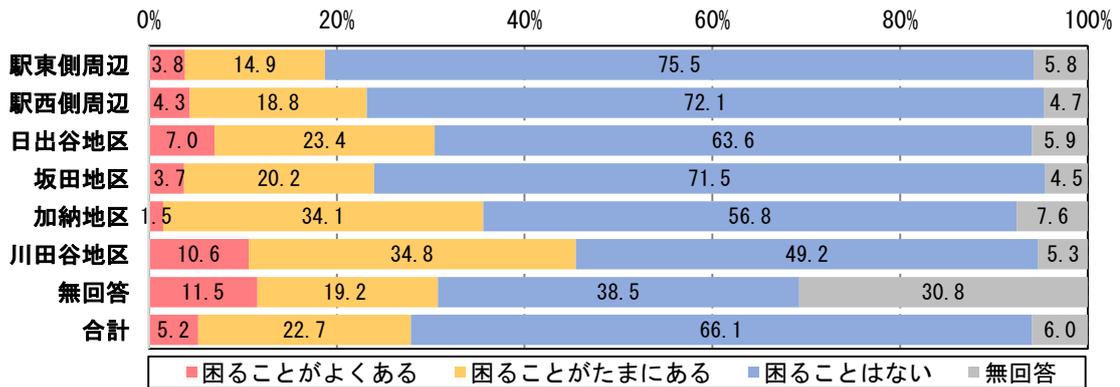


(4) 外出する時の不便度

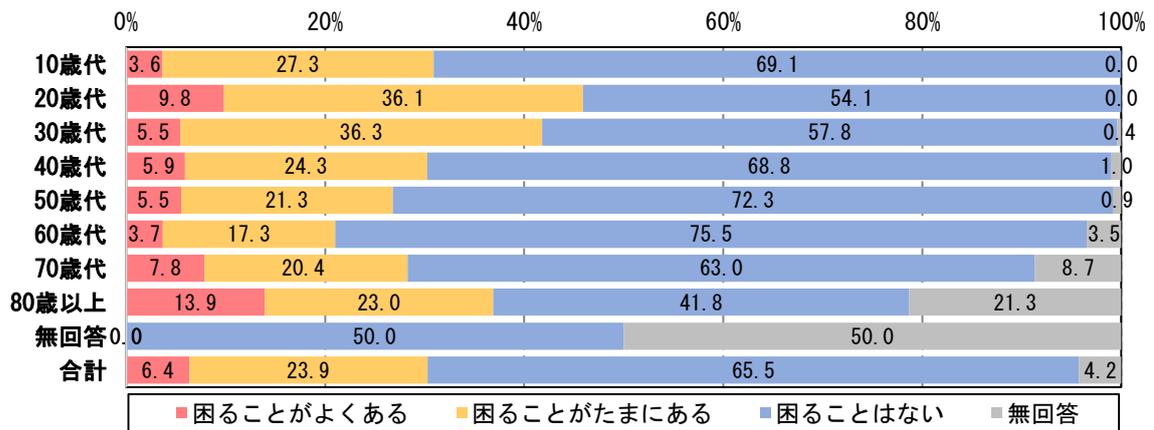
①外出する時に不便で困ることの有無

- ・外出時に「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方の合計は27.9%となっており、日出谷地区、加納地区及び川田谷地区で市平均を上回っている。とくに、川田谷地区では、困ることがある割合が45.4%と高くなっている。
- ・年齢等の属性で見た場合には、主に20歳代や30歳代、80歳以上の方、学生や専業主婦(夫)の方、自動車運転免許が無い方で困ることがある割合が高くなっている。

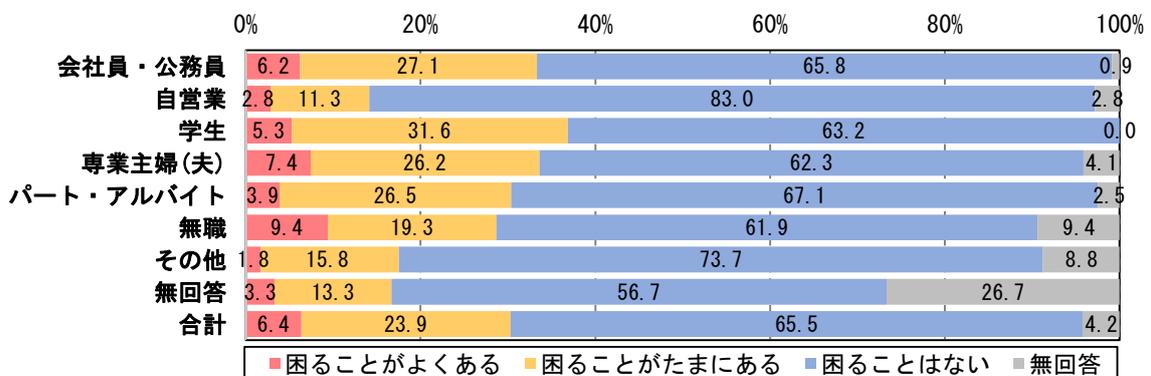
■外出する時に不便で困ることの有無



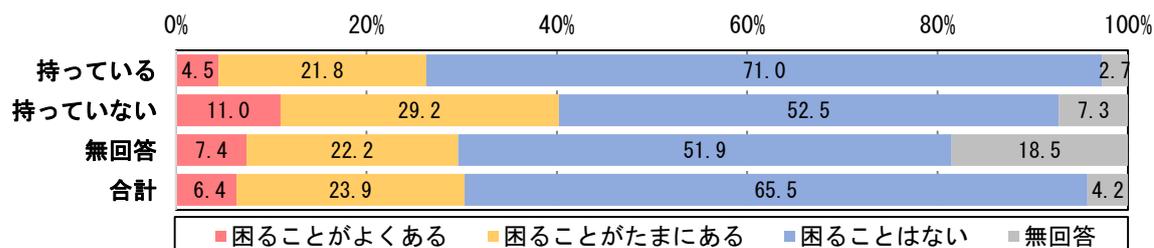
■外出する時に不便で困ることの有無 (年齢別)



■外出する時に不便で困ることの有無 (職業別)



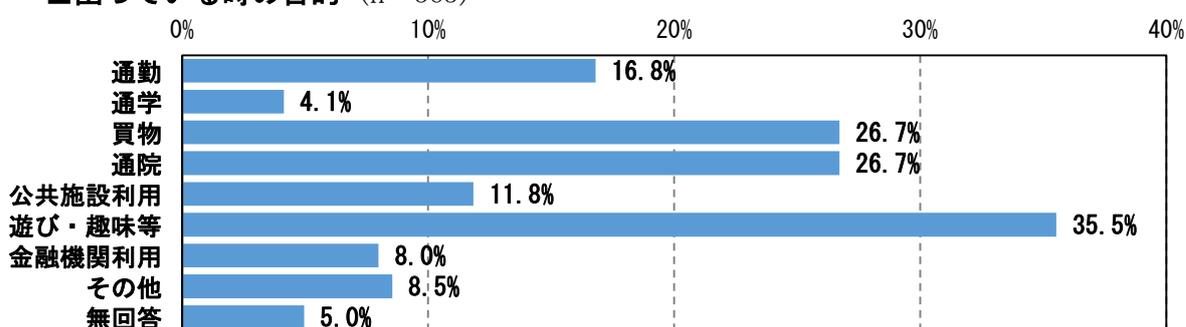
■外出する時に不便で困ることの有無（自動車運転免許有無別）



②困っている時の目的

・困っている時の外出目的としては、遊び・趣味等（35.5%）、買物及び通院（ともに26.7%）で高い。

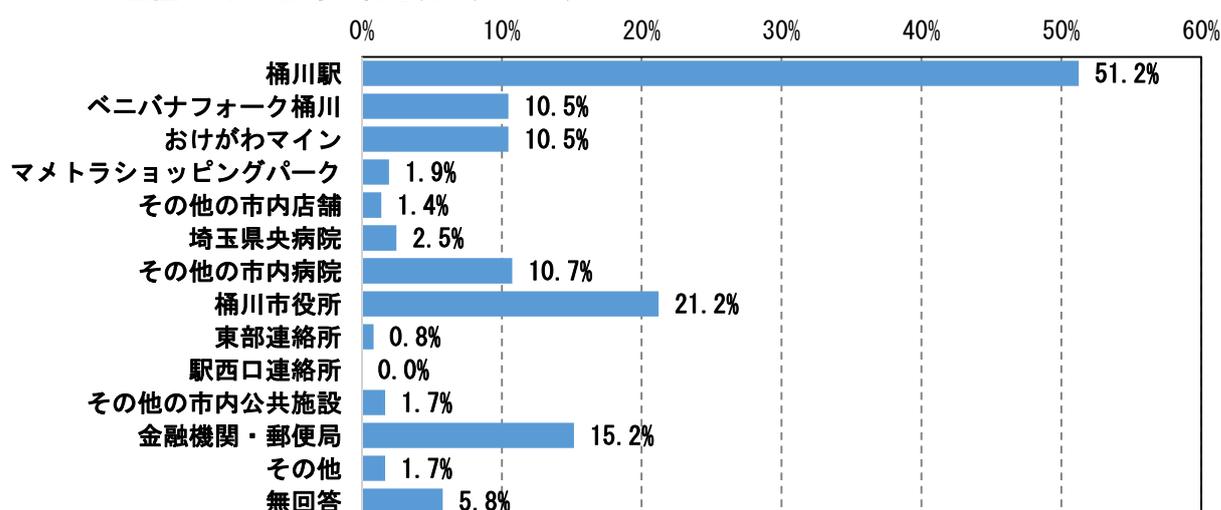
■困っている時の目的（n=363）



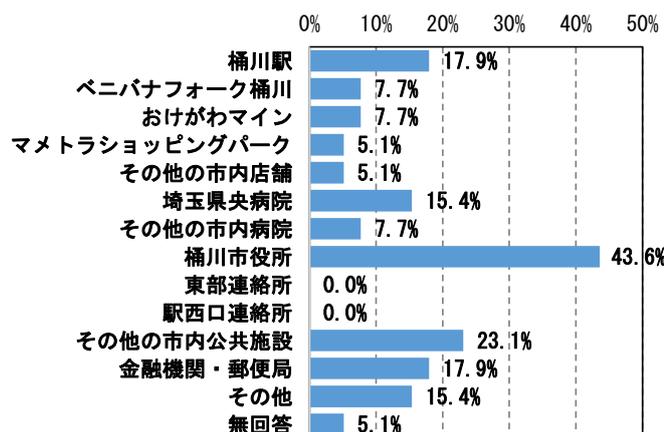
③困っている時の行き先

・困っている時の行き先としては桶川駅で51.2%と最も高く、次いで桶川市役所（21.2%）となっている。

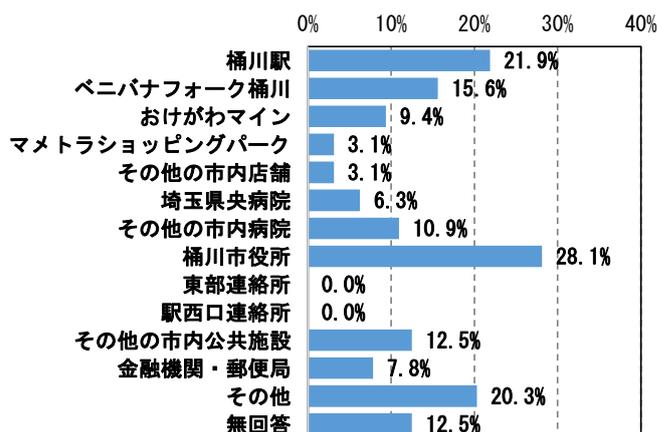
■困っている時の行き先（n=363）



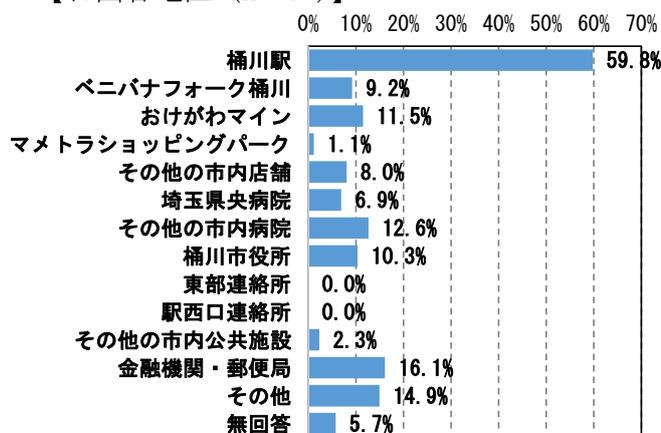
【駅東側周辺 (n=39)】



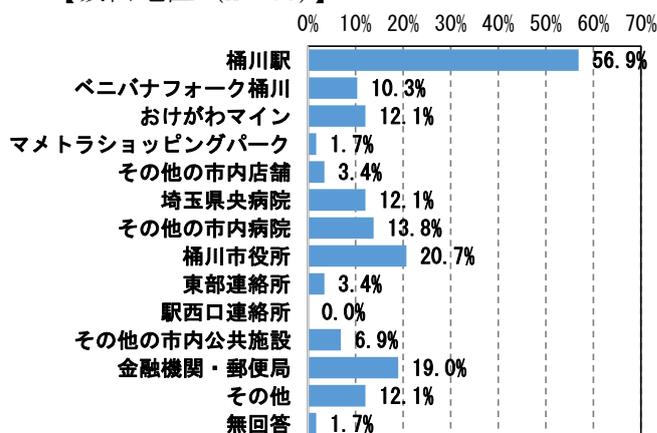
【駅西側周辺 (n=64)】



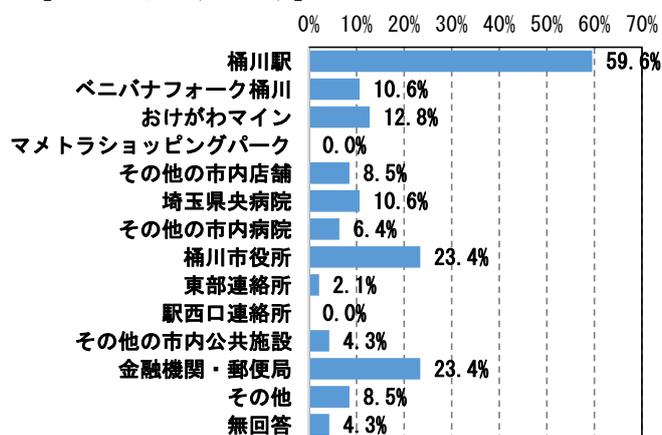
【日出谷地区 (n=87)】



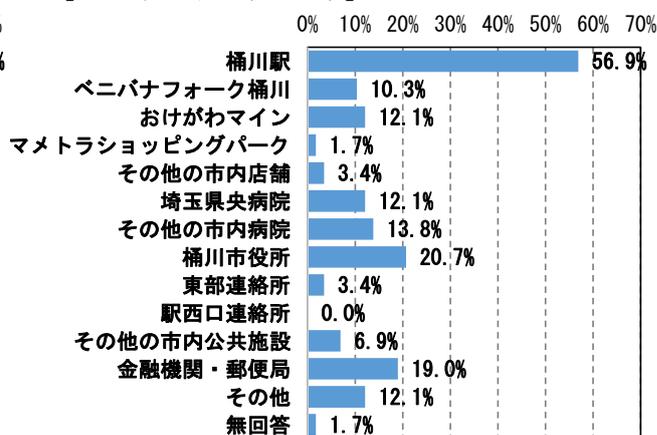
【坂田地区 (n=58)】



【加納地区 (n=47)】



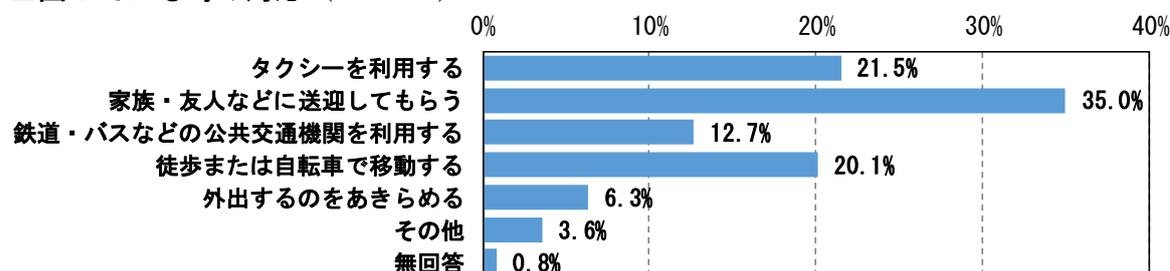
【川田谷地区 (n=60)】



③困っている時の対応

○困っている時の対応としては、「家族・友人などに送迎してもらう」が35.0%、「タクシーを利用する」が21.5%と高い。

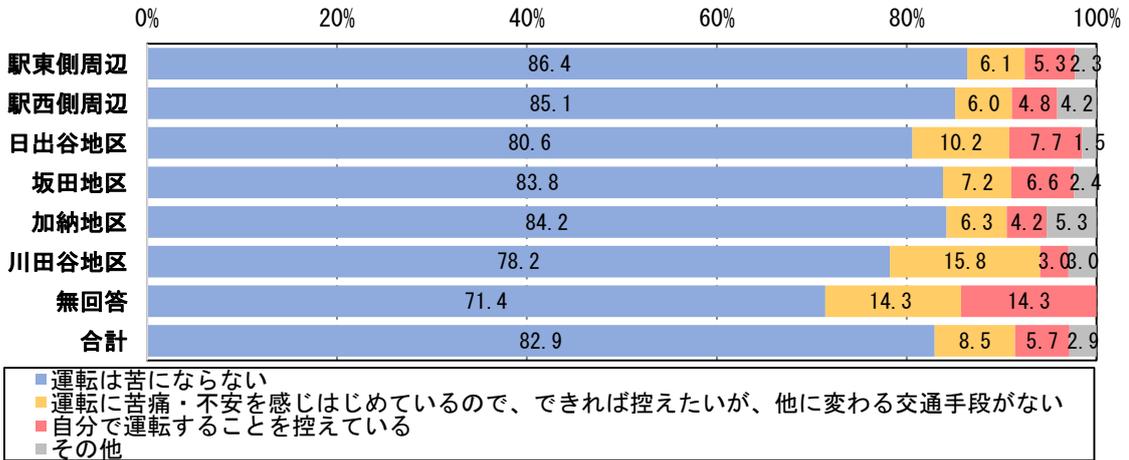
■困っている時の対応 (n=363)



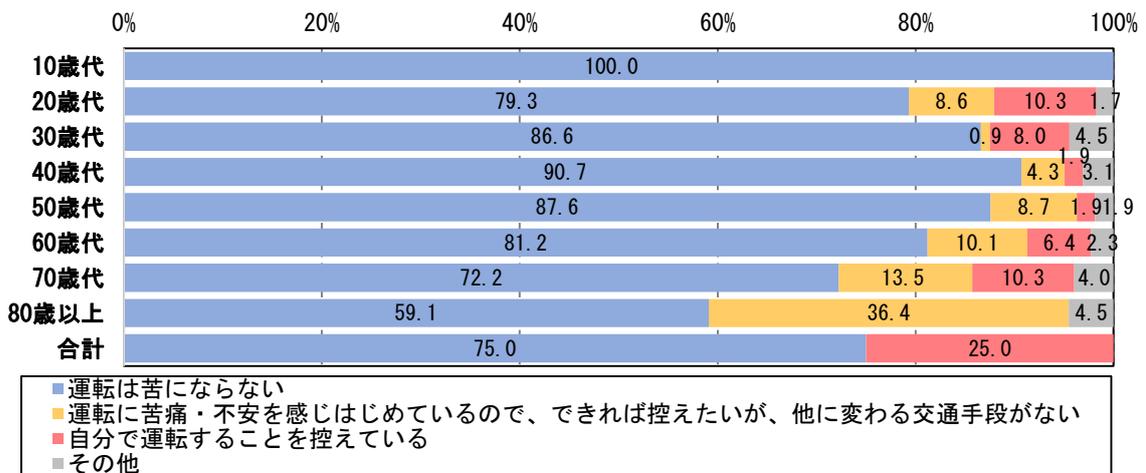
(5) 自動車運転に対する考え方

- ・自動車運転については、「運転は苦にならない」方が約8割を占めているものの、年齢別にみると80歳以上で「運転に苦痛・不安を感じはじめているので、できれば控えたいが、他に変わる交通手段がない」と「自分で運転することを控えている」との合計が36.4%と一番高く、次いで70歳代で23.8%と高い。
- ・何歳まで運転を続けるかどうかは、65～74歳が51.3%、75～84歳が33.1%と高い。

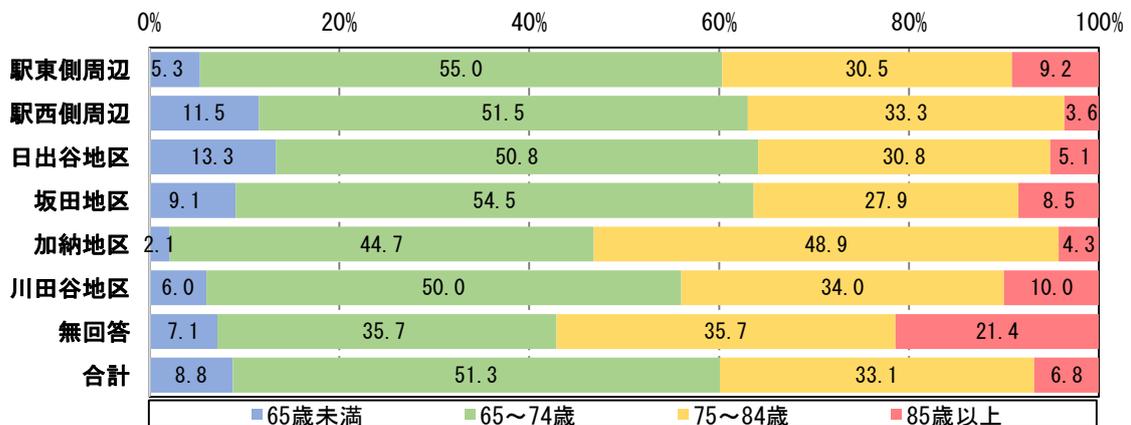
■運転に対する考え方



■年齢別運転に対する考え方



■運転を何歳まで続けるかどうか

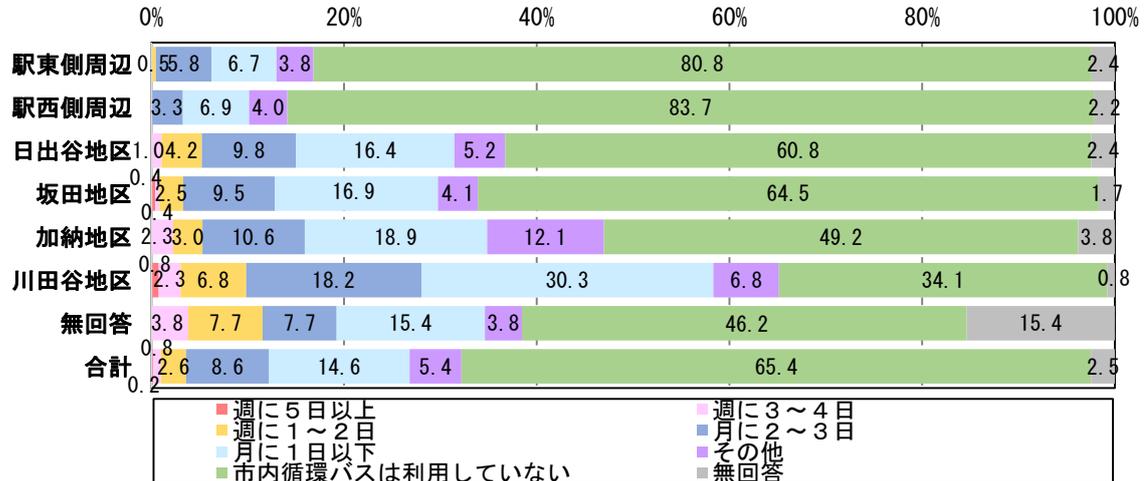


(6) 市内循環バスについて

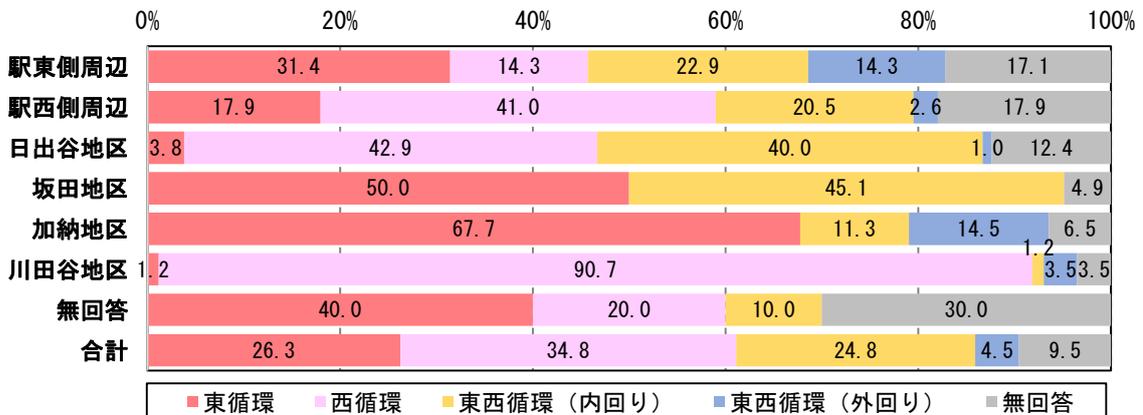
①市内循環バスの利用状況

- ・市内循環バスの利用頻度は、32.1%の人が利用しているものの、「月に1日以下」、「月に2～3日」といった低頻度の利用が多く、地区別に見ると、川田谷地区が65.2%、加納地区が47.0%と高い。
- ・利用目的は、「遊び・趣味等（44.4%）」、「買物（23.6%）」が多くなっている。

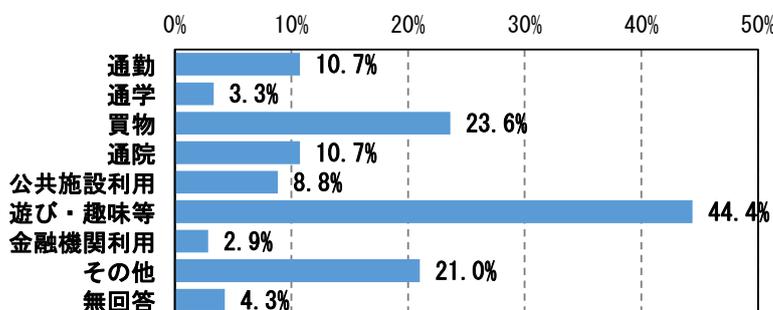
■利用頻度



■主に利用している路線 (n=419)



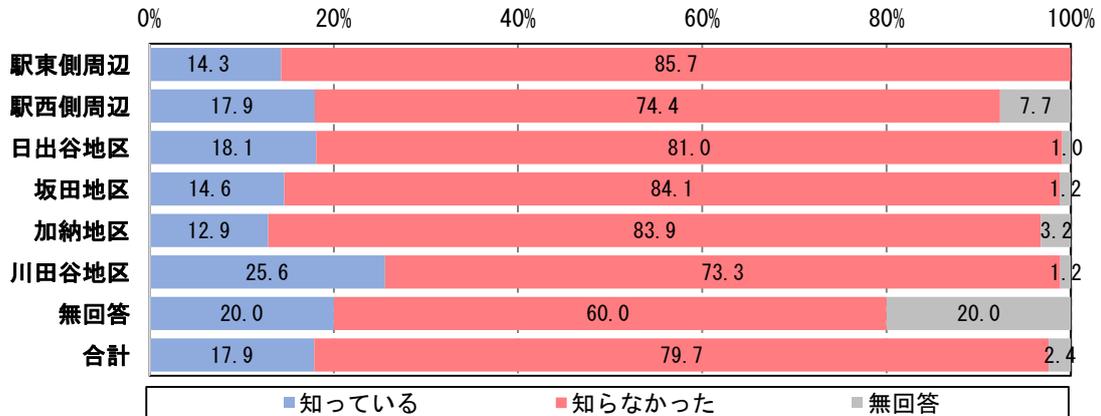
■利用目的 (n=419)



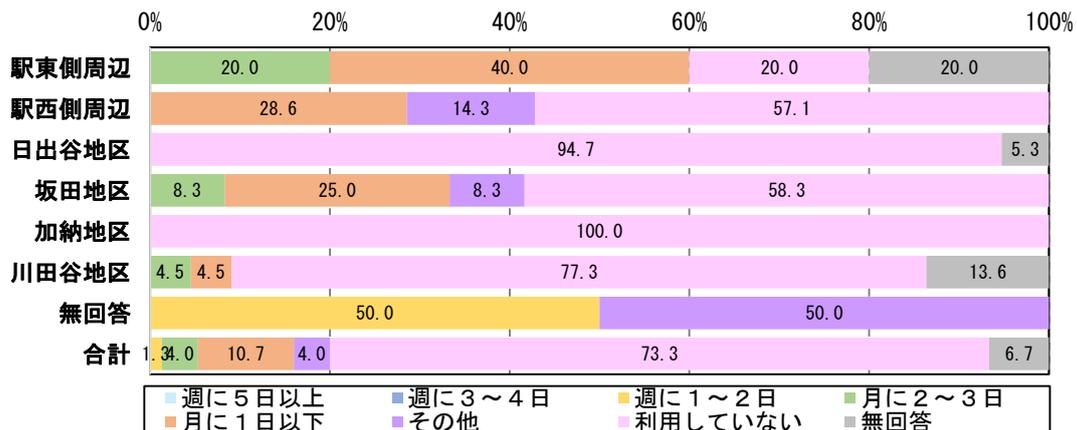
②上尾市コミュニティバスとの乗り継ぎ社会実験について

・乗継の社会実験の実施については、市内循環バスを利用している人の約 17.9%の人が知っており、そのうち 20%の利用者が上尾市のコミュニティバスに乗り継いで、上尾駅周辺（33.3%）や上尾中央病院に行っている。

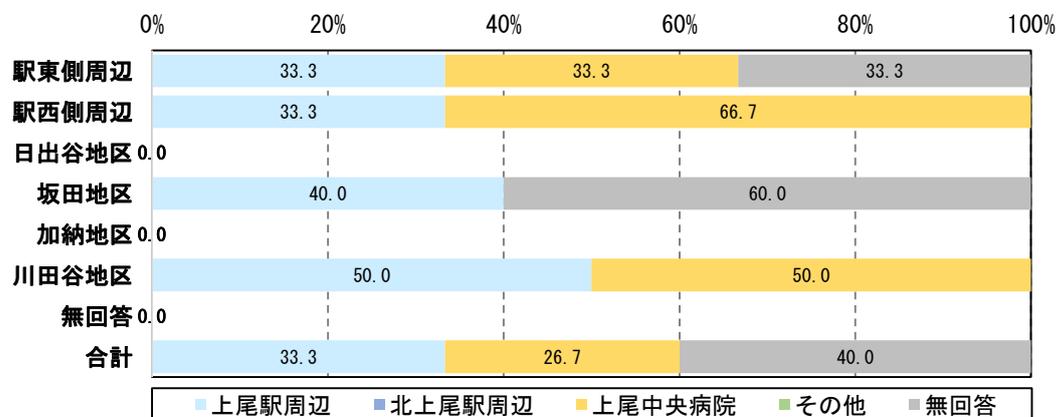
■社会実験実施の認知状況



■乗り継ぎ頻度 (n=75)



■上尾市内循環バスを乗り継いで行く行き先 (n=15)

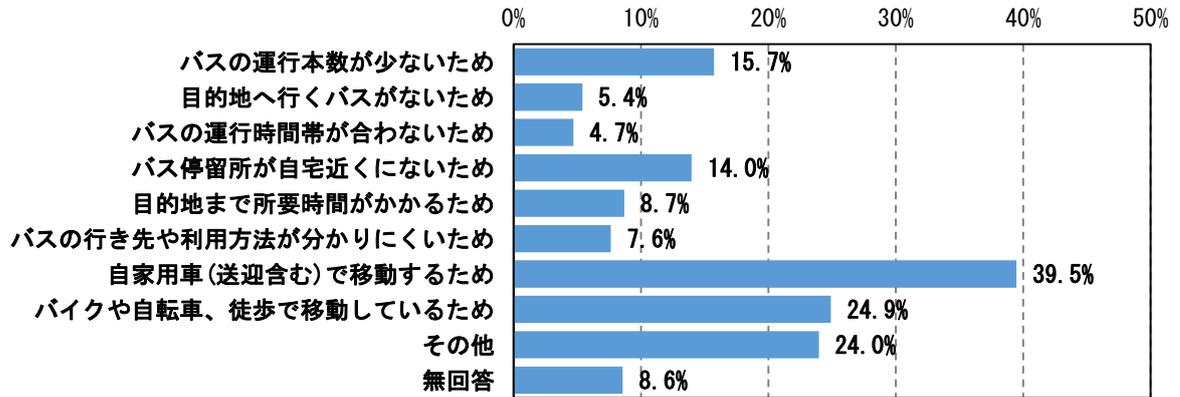


③市内循環バスを利用しない理由等

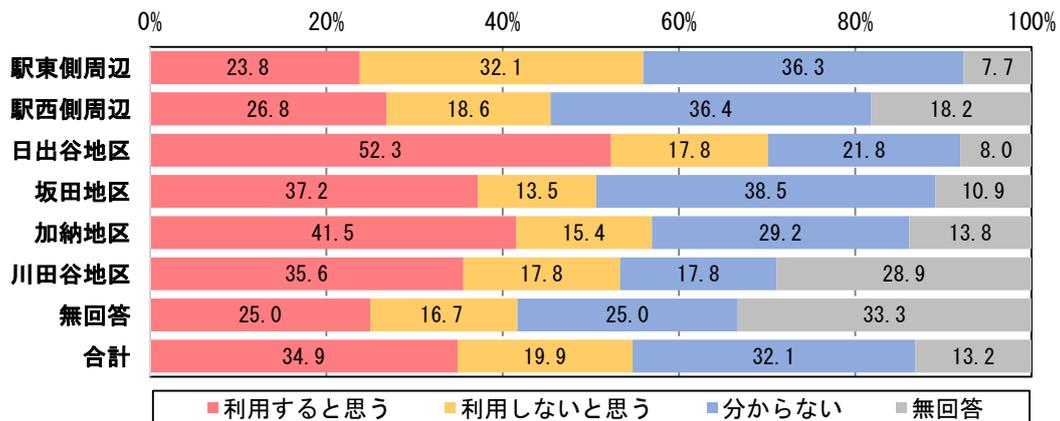
- ・市内循環バスを利用しない理由としては、「自家用車（送迎含む）で移動するため」が39.5%と最も多く、次いで「バイクや自転車、徒歩しているため」となっている。
- ・サービスが改善された場合の利用意向としては、「利用すると思う」と回答した割合が34.9%と、「利用しないと思う（19.9%）」を上回っている。

■市内循環バスを利用しない理由（「市内循環バスは利用していない」と回答した方のみ）

(n = 851)



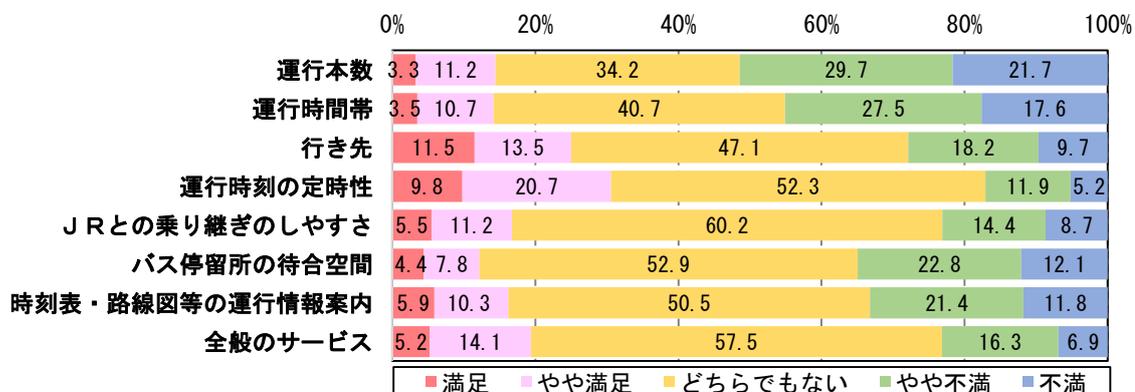
■サービスが改善された場合の利用意向（「市内循環バスは利用していない」と回答した方のみ）



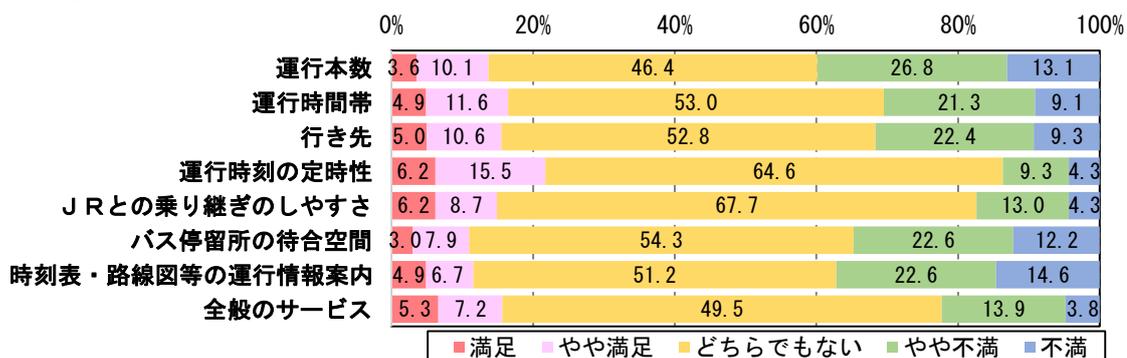
④運行サービスに対する満足度

・運行サービスに対する満足度は、行き先と運行時刻の定時性で「満足」、「やや満足」と回答した割合が高いものの、運行本数、運行時間帯及びバス停留所の待合空間で「不満」、「やや不満」の割合が高い。

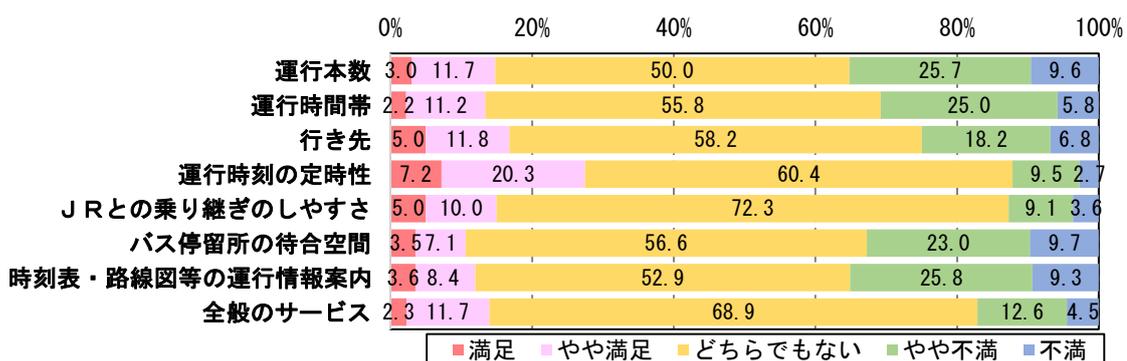
■運行サービスに対する満足度



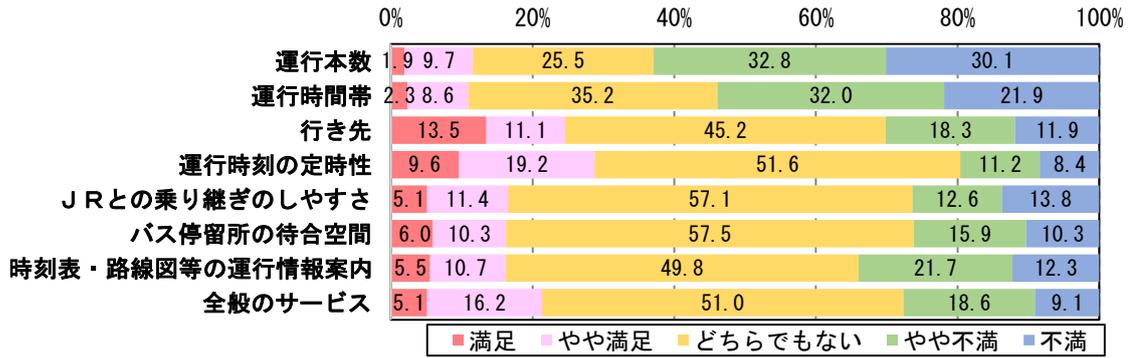
【駅東側周辺】



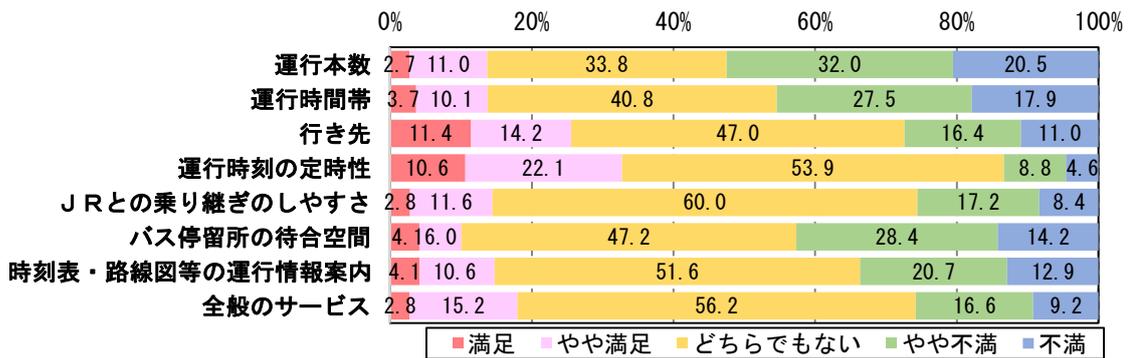
【駅西側周辺】



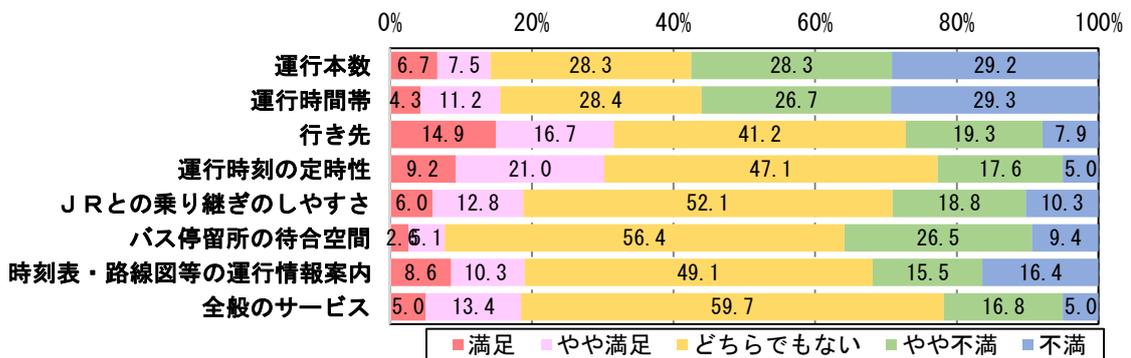
【日出谷地区】



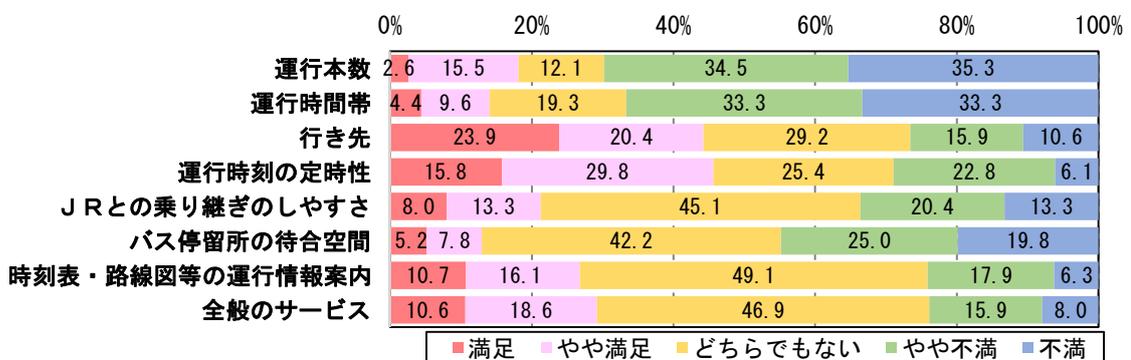
【坂田地区】



【加納地区】



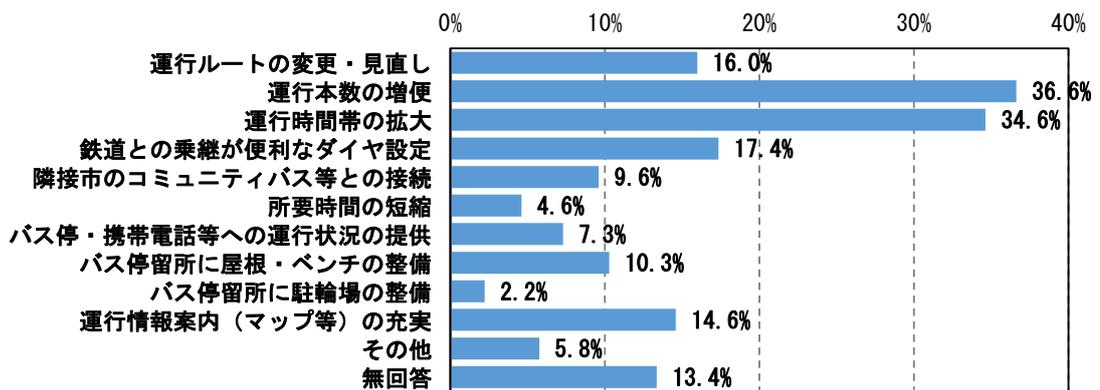
【川田谷地区】



⑤市内循環バスの利用をより高めるための取組について

- ・市内循環バスの利用をより高めるために必要な取組として、「運行本数の増便」、「運行時間帯の拡大」が35%前後と高くなっている。
- ・それ以外に、「鉄道との乗継が便利なダイヤ設定」、「運行ルートの変更・見直し」、「運行情報案内の充実」が高くなっている。
- ・市内循環バス利用者と非利用者でみると、両者ともに「運行本数の増便」、「運行時間帯の拡大」が高くなっており、非利用者においては「運行情報案内の充実」の割合が利用者よりも高くなっている。
- ・その他の意見として、「逆回りの運行」の意見が多い。

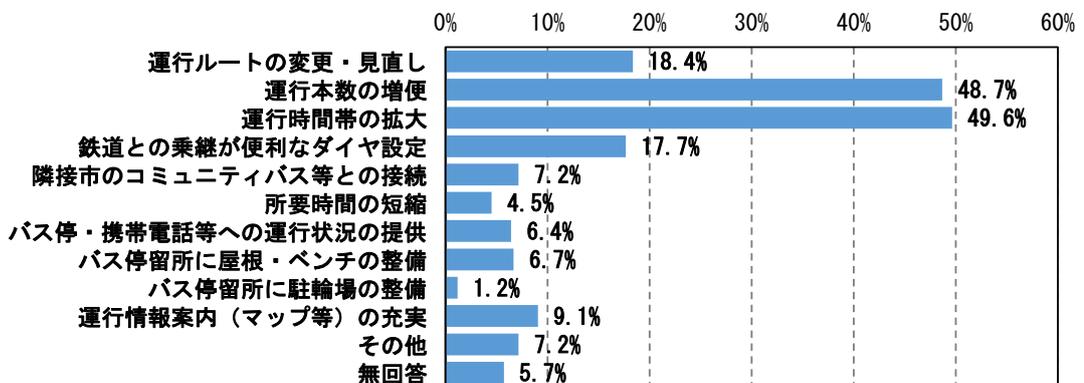
■市内循環バスの利用をより高めるための取組み



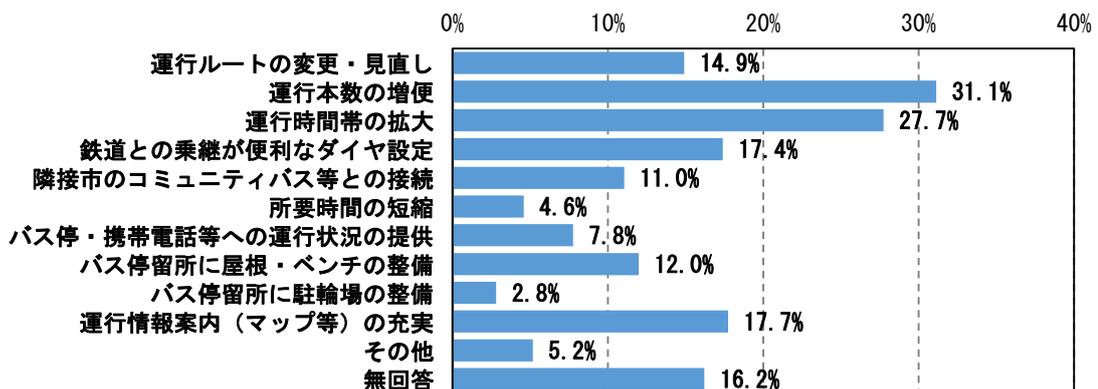
※その他 (n=75) …逆回りの運行 16件 他

■市内循環バス利用者・非利用者別にみた利用をより高めるための取組み

【利用者】



【非利用者】

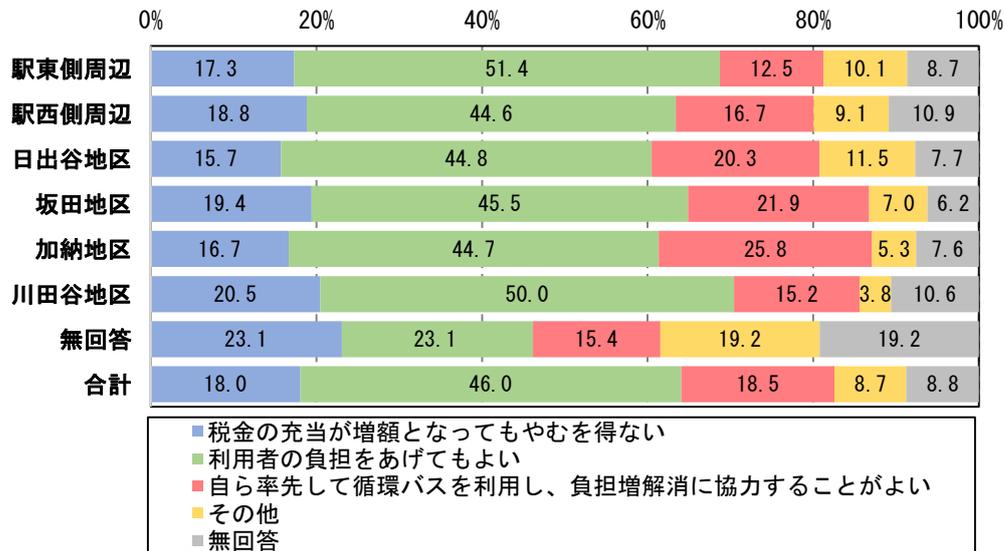


⑥市内循環バスの利便性向上に伴う運行経費等の負担増について

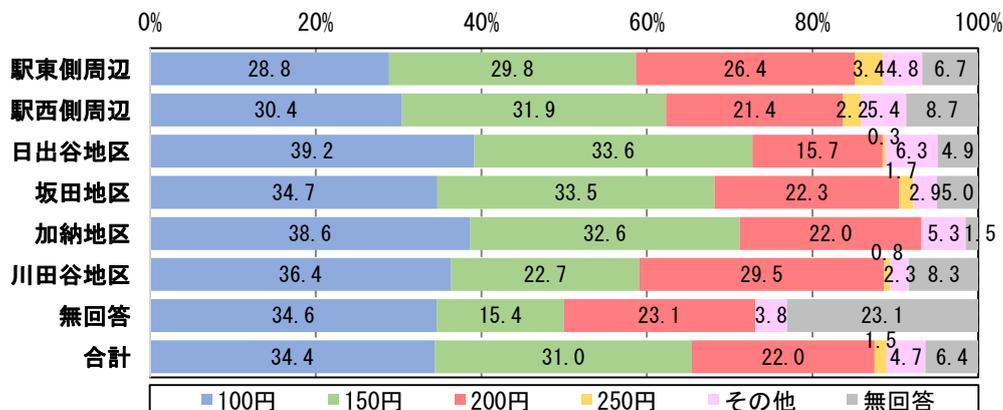
・市内循環バスの利便性向上に伴う運行経費等の負担増に対する考え方は、「利用者の負担をあげてもよい」が46.0%と高くなっている。

・利便性が向上した場合の妥当な運賃としては、現行と同じ「100円」が34.4%と高く、次いで「150円（31.0%）」となっている。但し、利用者・非利用者別に見ると、市内循環バス利用者で現行と同じ「100円」が45.6%と高い。

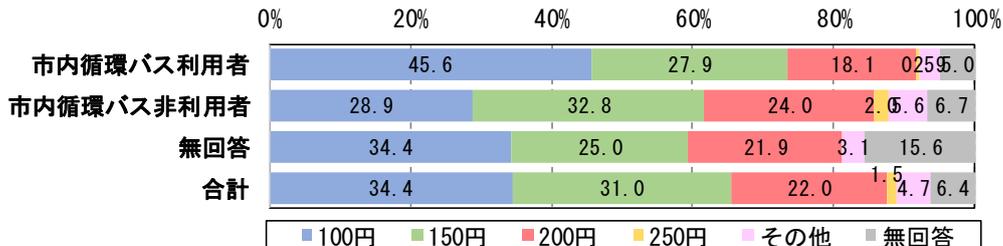
■市内循環バスの利便性向上に伴う運行経費等の負担増に対する考え



■市内循環バスの利便性が向上した場合の妥当な運賃



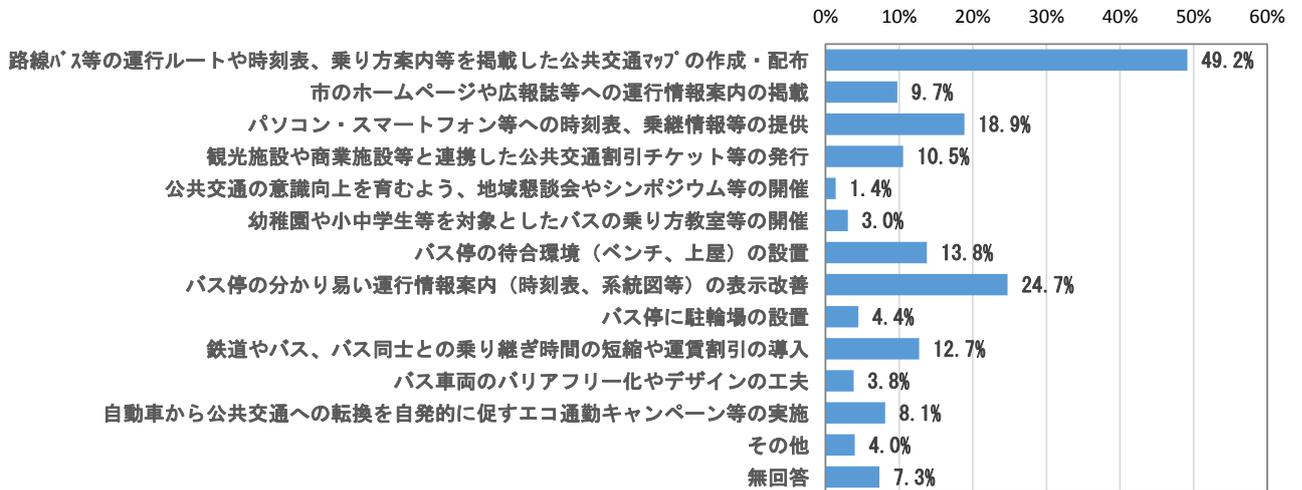
■利用者・非利用者別にみた市内循環バスの利便性が向上した場合の妥当な運賃



(7) 市内循環バスを含む公共交通の利用促進を図るための効果的な取組

- ・公共交通の利用促進を図るための効果的な取組は、「路線バス等の運行ルートや時刻表、乗り案内等を掲載した公共交通マップの作成・配布」(49.2%)、「バス停の分かり易い運行情報案内(時刻表、系統図等)の表示改善」(24.7%)、「パソコン・スマートフォン等への時刻表、乗り継ぎ情報等の提供」(18.9%)の順で多くなっている。

■公共交通の利用促進を図るための効果的な取組 (n=1,302)



2 市内循環バス利用者聞き取り調査

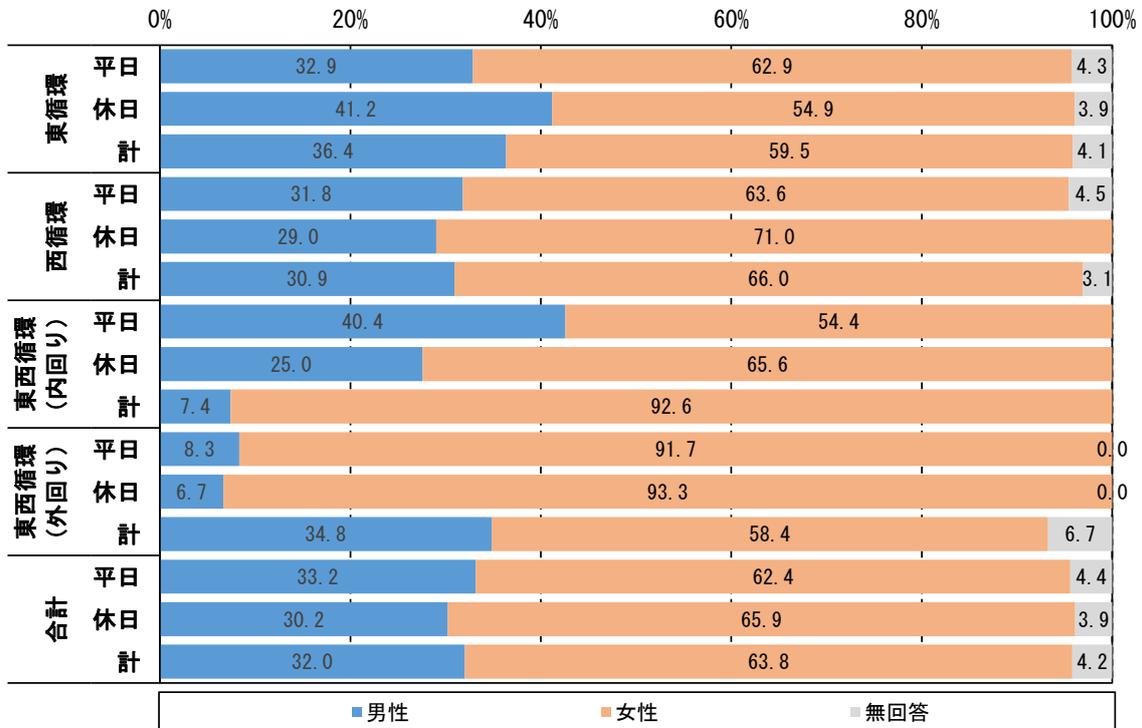
市内循環バス利用者聞き取り調査は、JR桶川駅において市内循環バス利用者を対象に、市内循環バスの利用状況、運行サービスに対する満足度、改善要望を把握し、市内循環バスの見直しを図るための基礎資料として活用するために実施した。

調査対象者	市内循環バス利用者																			
調査場所	市内循環バスの起点終点停留所：桶川駅（東口、西口）																			
調査方法	バス乗車待ち客に対して、調査員による直接ヒアリング																			
調査日時	調査日 平日：平成28年9月16日（月）、休日：平成28年9月11日（日） 調査時間 各ルートの始発～終発 ○東循環：8:00～20:00（20:32 桶川駅東口着） ○西循環：8:00～21:00（21:37 桶川駅西口着） ○東西循環（内回り）：6:55～20:15（21:30 桶川駅東口着） ○東西循環（外回り）：7:10～19:45（21:21 桶川駅東口着）																			
調査項目	①回答者の属性（性別、年齢、職業） ②路線バスの利用状況（利用OD、利用目的、利用頻度） ③運行サービスに対する満足度（運行ルート、運行本数、運行時間帯、運行情報案内） ④改善要望																			
回答票数	全体 335 票（平日 205 票、休日 129 票） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平日：9月16日（月）</th> <th>休日：9月11日（日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東循環線</td> <td>70 票</td> <td>51 票</td> </tr> <tr> <td>西循環線</td> <td>66 票</td> <td>31 票</td> </tr> <tr> <td>東西循環線（内回り）</td> <td>57 票</td> <td>32 票</td> </tr> <tr> <td>東西循環線（外回り）</td> <td>12 票</td> <td>15 票</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>205 票</td> <td>129 票</td> </tr> </tbody> </table>			平日：9月16日（月）	休日：9月11日（日）	東循環線	70 票	51 票	西循環線	66 票	31 票	東西循環線（内回り）	57 票	32 票	東西循環線（外回り）	12 票	15 票	合計	205 票	129 票
	平日：9月16日（月）	休日：9月11日（日）																		
東循環線	70 票	51 票																		
西循環線	66 票	31 票																		
東西循環線（内回り）	57 票	32 票																		
東西循環線（外回り）	12 票	15 票																		
合計	205 票	129 票																		

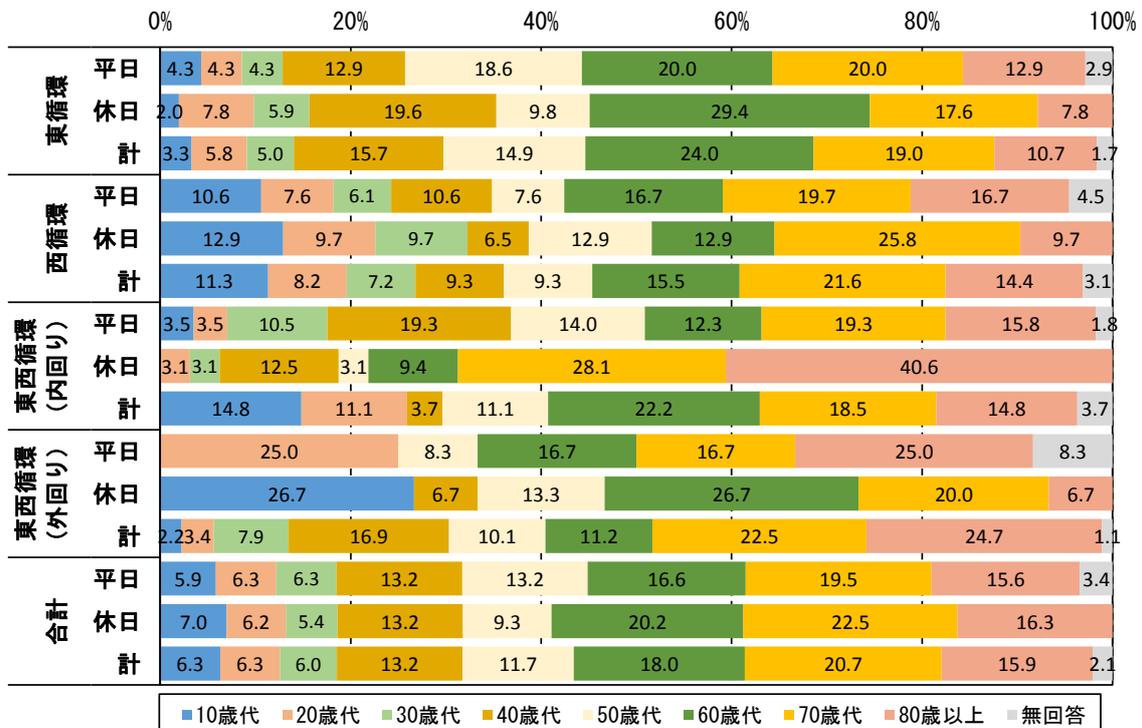
(1) 回答者の属性

- ・性別は、女性の回答者が63.8%と男性よりも高く、年齢は、60歳代が18.0%、70歳以上が20.7%、80歳以上が15.9%と60歳以上が約55%を占めている。
- ・職業は会社員・公務員が25.7%、無職が25.4%と高い。

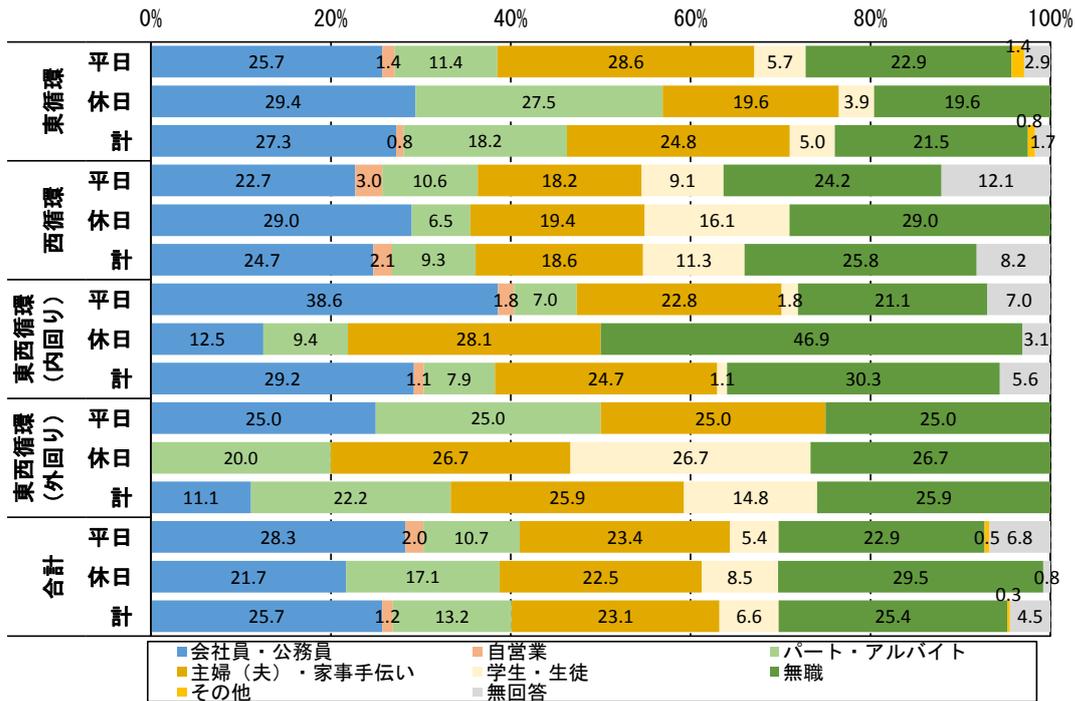
■性別



■年齢



■職業

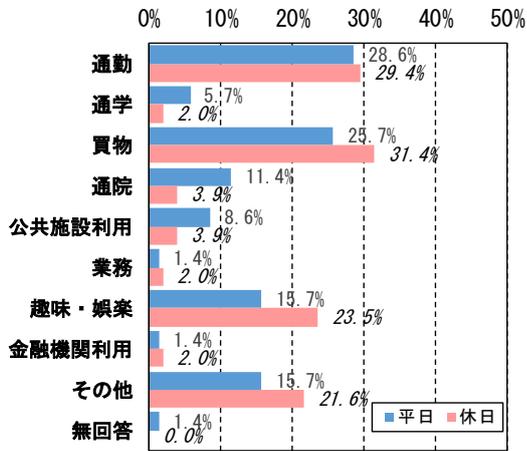


(2) 利用状況

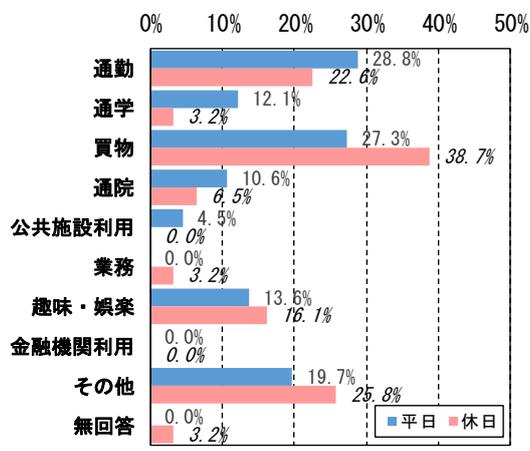
- ・市内循環バスの利用目的としては、平日においては、「通勤」、「買物」が多くなっており、休日においては、「買物」、「趣味・娯楽」が多くなっている。
- ・利用頻度は利用目的に反映し、週に5日以上が25.7%、週に1～2日が20.8%と高い。

■利用目的（複数回答可）

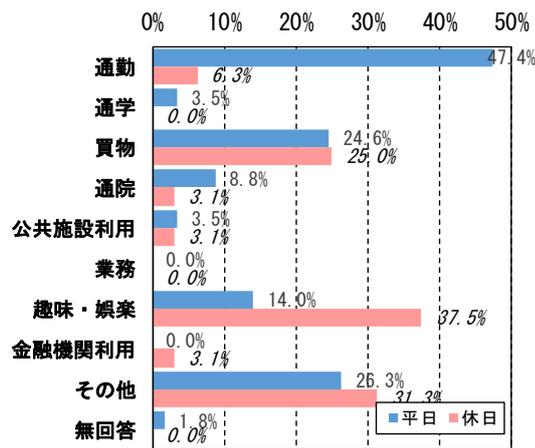
東循環



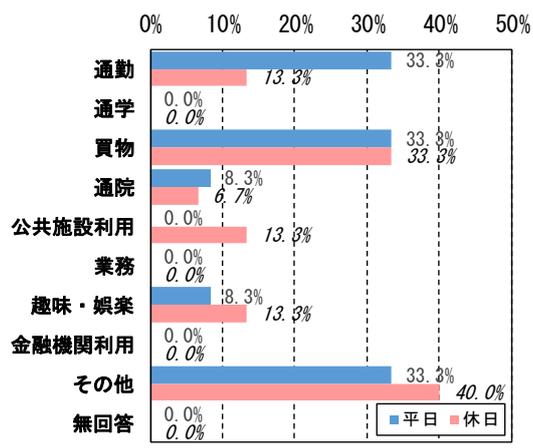
西循環



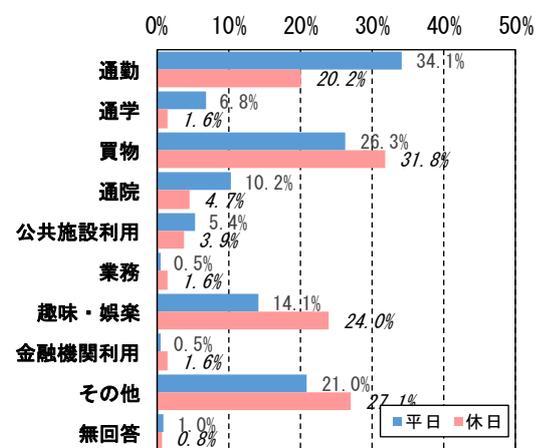
東西循環（内回り）



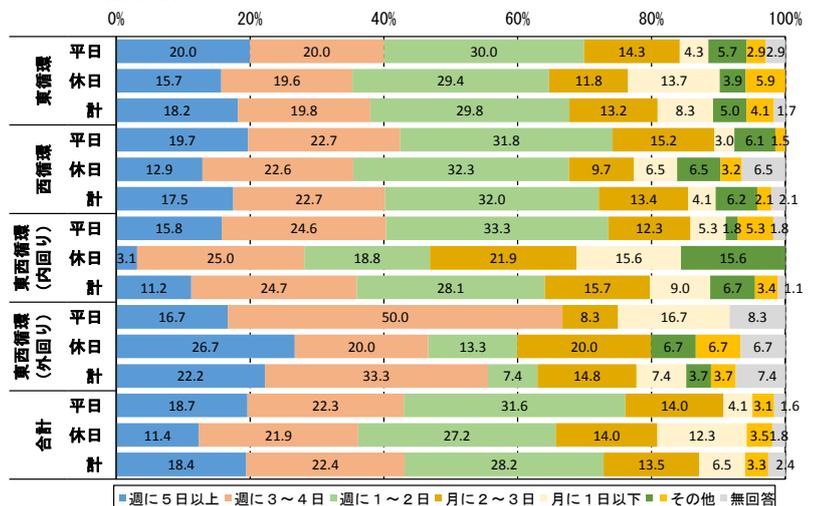
東西循環（外回り）



全路線



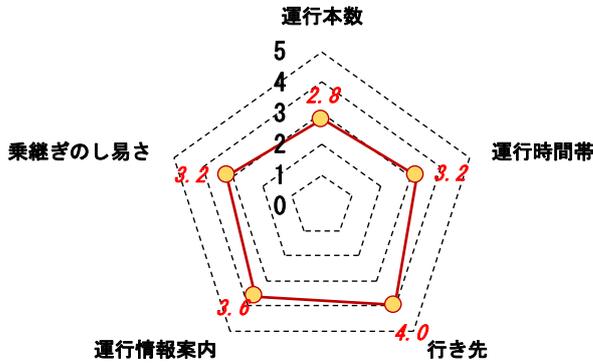
■利用頻度



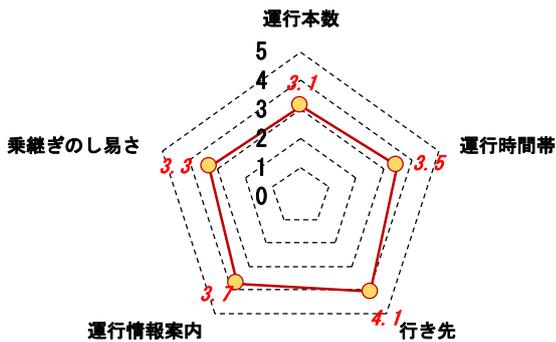
(3) 運行サービスに対する満足度

- ・運行サービスに関する満足度は、「運行本数」で低いものの相対的に高くなっている。
- ・ルート別に見ると、東循環以外の3ルートで路線において「運行本数」の満足度が低くなっている。

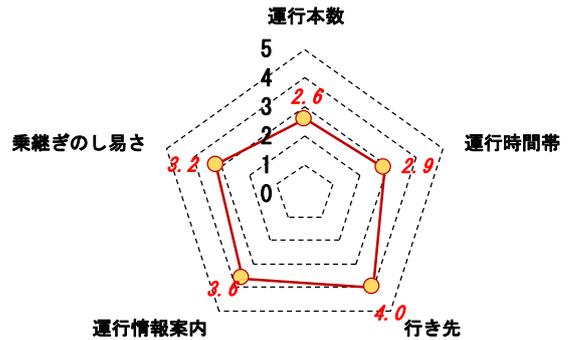
■運行サービスについての満足度 路線全体



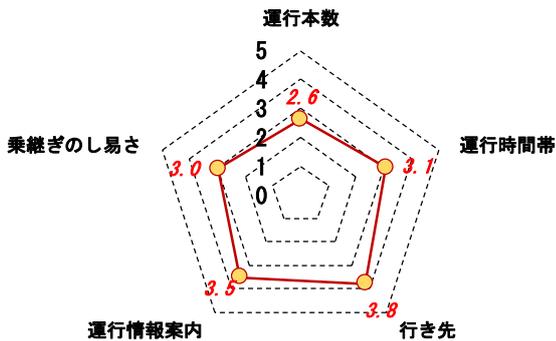
東循環



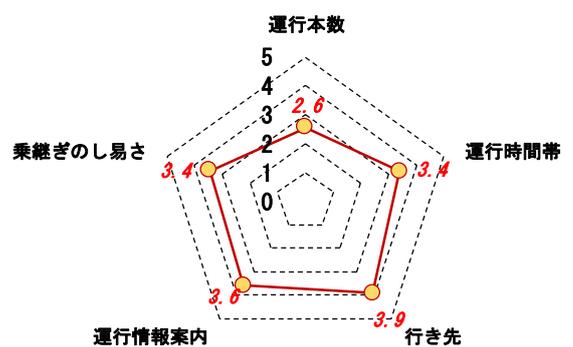
西循環



東西循環（内回り）



東西循環（外回り）

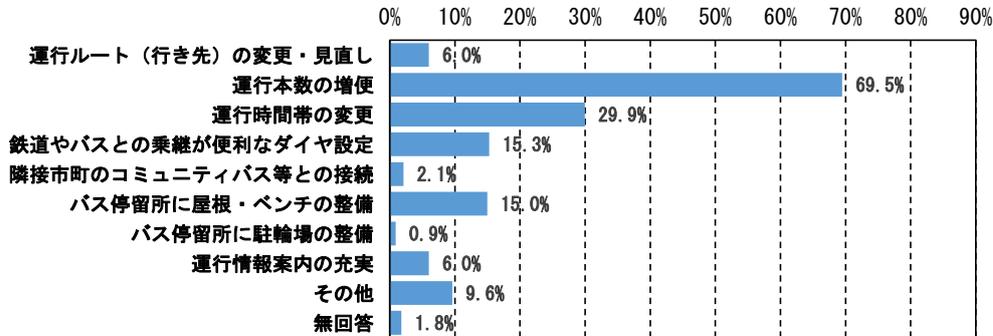


満足：5
 やや満足：4
 どちらでもない：3
 やや不満：2
 不満：1

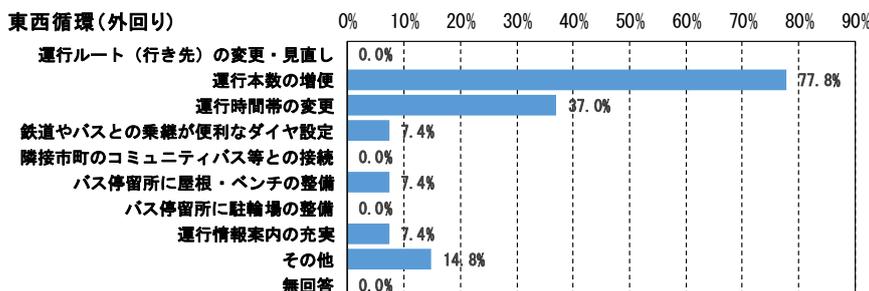
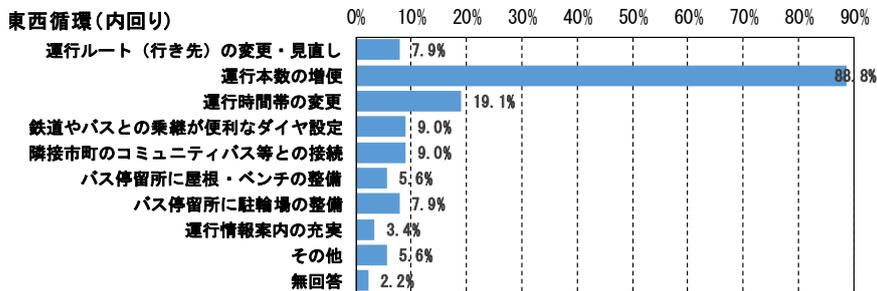
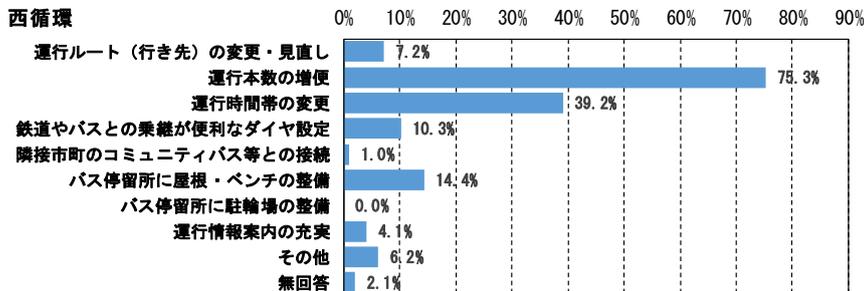
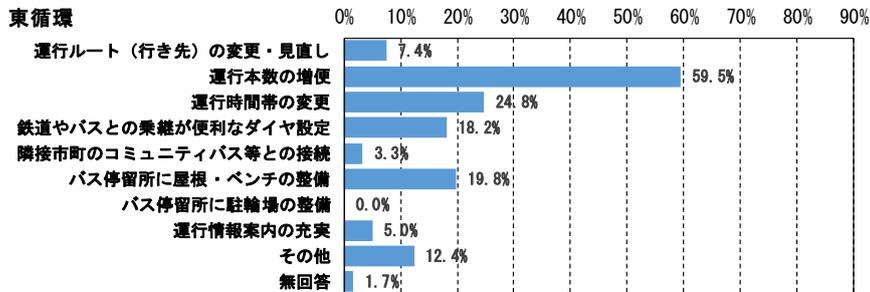
(4) 改善要望

- ・改善要望として「運行本数の増便」を望む意見が多くなっている。
- ・自由意見として、「朝夕の増便」、「各時間帯での運行（1時間に1本の運行等）」、「ICカードへの対応」、「逆方向の運行（とくに東循環）」、「運転手のマナーの悪さ」等の意見が多い。

■改善要望（路線全体）



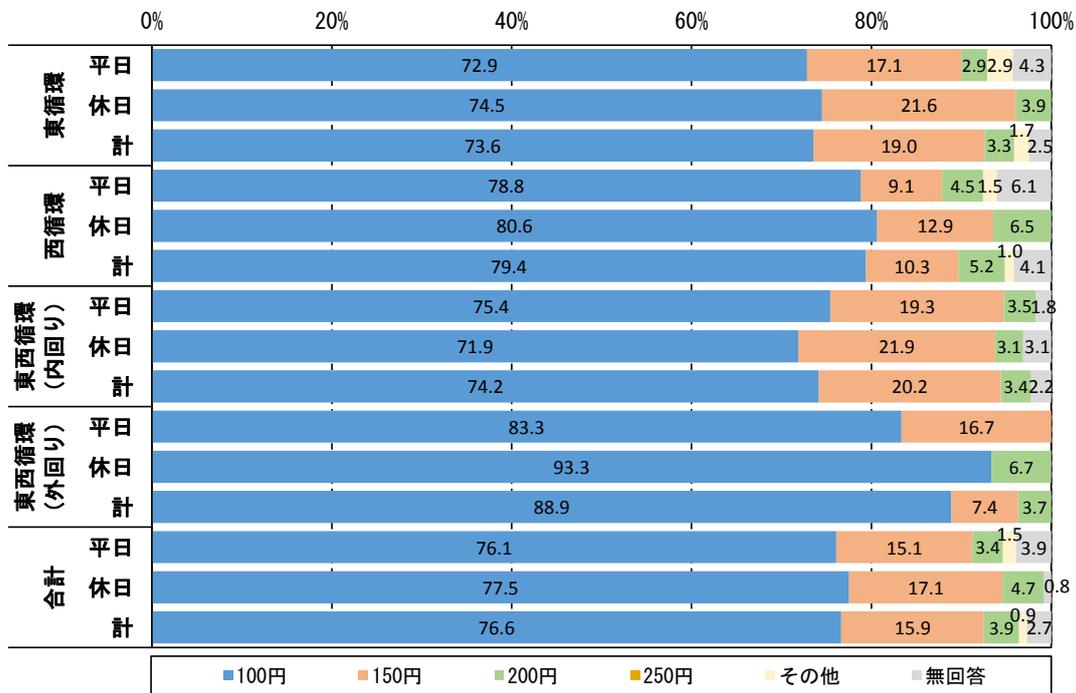
■路線別運行サービスについて満足度



(5) 運行サービスが向上した場合の妥当な1回の乗車運賃

・運行サービスが向上した場合の妥当な乗車運賃は、現行の同じ「100円」を望む意見が多く、76.6%を占めており、次いで「150円」が15.9%と高くなっている。

■運行サービスが向上した場合の妥当な1回の乗車運賃



(参考1) 市民アンケート調査票

桶川市内循環バスに関する市民アンケート調査票

1 あなた(回答者)ご自身についてお聞きします。

問1 あなたご自身のことについて、お聞きします。下の表の設問について、あてはまるもの1つに○印をつけ、また必要箇所にご記入ください。

(ア) 性別	①男性	②女性		
(イ) 年齢	①10歳代	②20歳代	③30歳代	④40歳代 ⑤50歳代
(ウ) 職種	①会社員・公務員	②自営業	③学生	④専業主婦・主夫
(エ) 住所	⑤パート・アルバイト			
(カ) 自動車運転免許有無	⑥無職			
(キ) 自動車の所有状況	⑦その他()			
(ク) JR桶川駅に行く場合の交通手段	()地区 (記載例：東一丁目、加納、川田谷など)			
(ケ) 自動車の所有状況	①持っている			
(コ) JR桶川駅に行く場合の交通手段	②持っていない			
(カ) 自動車の所有状況	①自分専用の自動車がある			
(キ) JR桶川駅に行く場合の交通手段	②持っていない			
(ク) JR桶川駅に行く場合の交通手段	③家族共有の自動車がある			
(ケ) JR桶川駅に行く場合の交通手段	④踏線バス			
(コ) JR桶川駅に行く場合の交通手段	⑤市内循環バス			
(カ) 自動車の所有状況	⑥自家用車で送迎			
(キ) JR桶川駅に行く場合の交通手段	⑦徒歩			
(ク) JR桶川駅に行く場合の交通手段	⑧バイク・自転車			
(ケ) JR桶川駅に行く場合の交通手段	⑨その他()			

2 お住まいの地域での現在及び将来の移動についてお聞きします。

問2 お住まいの地域での移動に対する現在の外出状況及び将来の状況について、あなたのお考えに最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していただくと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。①～④全てについて現在・将来(10年後)についてお答えください。

例) 買物先への移動について	現在				将来(10年後)	
	ひとりで行ける	ひとりで行けるが、何かの助けが必要	できない	不安がない	不安がある	
①買物先への移動について	1	2	3	4	1	2
②通院先への移動について	1	2	3	4	1	2
③公共施設への移動について	1	2	3	4	1	2
④金融機関への移動について	1	2	3	4	1	2

桶川市内循環バスに関する市民アンケート調査

市民の皆様には、日頃より市政にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
交通空白地帯の解消、高齢者等移動制約者の移動手段を確保すること等を目的に、平成13年4月から本格運行を開始した市内循環バス「べにばなGO」は、お陰様をもちまして今年で16年目を迎え、年間約2.8万人(平成27年度実績)の方々にご利用いただいております。

今後迎える超高齢化社会に対し、市民の足として定着してきた市内循環バスの役割は、ますます重要となっております。市民の皆様をはじめご利用者の方々からの期待も大きくなっていくものと考えております。

本市では、公共交通機関としての循環バスの更なる充実(更なる交通空白地帯の解消、利便性の向上)を図るため、循環バスの利用状況や利用意向、将来の方向性などについてご意見を伺いし、市内循環バス再編計画を検討する上での基礎資料といたし、市民アンケート調査を実施することと致しました。

本調査は、15歳以上の市民の皆様の中から無作為で抽出した3,000人を対象にご協力をお願いしております。ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

今後の桶川市における市内循環バスを考えると、極めて重要な調査となりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年9月
桶川市長 小野 克典

【アンケート記入にあたってのお願い】

- 1 回答は、あて名にあるご本人が記入くださいますようお願いいたします。ただし何らかの事情により、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方、介護者の方が代わりにお答えいただいても結構です。
- 2 回答は、番号に○印をつけていただくものと、ご記入いただくものがあります。「その他」に当てはまる場合は、()内に具体的に記入してください。

ご記入が終わりましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、

平成28年10月12日(水)まで にご投函ください。(切手不要)

【問い合わせ先】

桶川市 市民生活部 安心安全課 交通・防犯担当
〒363-8501 桶川市大字上日出谷 936 番地の1
電話：048-786-3211 (代) F A X：048-786-3740

3 あなたの日常的な主な行動についてお聞きします。

問3 外出の目的(A)～(D3)ごとに、(ア)主な行き先、(イ)外出時の主な交通手段、(ウ)外出頻度について、それぞれ該当するものを1つ選んで○印をつけてください。

目的	(ア) 主な行き先	(イ) 外出時の主な交通手段	(ウ) 外出頻度
(A) 通勤・通学の場合	①市内 ②上尾市 ③北本市 ④鴻巣市 ⑤さいたま市 ⑥その他の県内市町村 ⑦県外の市町村	①鉄道 ②路線バス ③市内循環バス ④自家用車を運転 ⑤自家用車で送迎 ⑥タクシー ⑦バイク・自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日以下 ⑥その他()
(B) 買物・食料・日用品等の場合	①ペニントンウォーク柳川 ②おけがわマイン ③マツヨシデンパルク ④その他の市内 ⑤上尾市内 ⑥北本市内 ⑦その他の市外()	①鉄道 ②路線バス ③市内循環バス ④自家用車を運転 ⑤自家用車で送迎 ⑥タクシー ⑦バイク・自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日以下 ⑥その他()
(C) 通院の場合	①埼玉中央病院 ②市内その他病院・医院・診療所 (病院名:) ③市外の病院・医院・診療所 (病院名:)	①鉄道 ②路線バス ③市内循環バス ④自家用車を運転 ⑤自家用車で送迎 ⑥タクシー ⑦バイク・自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日以下 ⑥その他()

目的	(ア) 主な行き先	(イ) 外出時の主な交通手段	(ウ) 外出頻度
(D1) 市役所等	①桶川市役所 ②東部連絡所 ③駅西口連絡所(桶川マイン内) ④市外の施設 (施設名:)	①鉄道 ②路線バス ③市内循環バス ④自家用車を運転 ⑤自家用車で送迎 ⑥タクシー ⑦バイク・自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日以下 ⑥その他()
(D2) 文化・スポーツ施設等) 公共施設利用の場合	①文化施設(市民ホール、生涯学習センター、公民館、図書館等) ②スポーツ施設・公園(サンアリアナ、ゆめ公園、つばき公園、成山公園、こども公園、わんぱく村等) ③その他の市内の施設 (施設名:) ④市外の施設 (施設名:)	①鉄道 ②路線バス ③市内循環バス ④自家用車を運転 ⑤自家用車で送迎 ⑥タクシー ⑦バイク・自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日以下 ⑥その他()
(D3) 福祉施設等) 公共施設利用の場合	①福祉施設(総合福祉センター、地域福祉活動センター等) (施設名:) ②その他の市内の施設 (施設名:) ③市外の施設 (施設名:)	①鉄道 ②路線バス ③市内循環バス ④自家用車を運転 ⑤自家用車で送迎 ⑥タクシー ⑦バイク・自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日以下 ⑥その他()

問4 普段、外出する時に交通手段がなくて困ることはありませんか。(1つに○印)

- ①困ることがよくある ②困ることがたまにある ③困ることはない

→「③困ることはない」と回答された方は問6へお進み下さい

問5 問4で「①困ることがよくある」、「②困ることがたまにある」とお答えの方にお聞きします。

(1) どのような目的で外出する時に困ることが多いですか。(2つまで○印)

- ①通勤 ②通学 ③買物 ④通院 ⑤公共施設利用
⑥遊び・趣味等 ⑦金融機関利用 ⑧その他

(2) 市内のどこへ行かれる時に困りますか。(3つまで○印)

- ①桶川駅 ②ベニバナパーク ③おかげがわマイン)
④アストロポリスパーク ⑤その他の市内店舗 (店舗名)
⑥埼玉県中央病院 ⑦その他の市内病院等 (病院名)
⑧桶川市役所 ⑨東部連絡所 ⑩駅西口連絡所
⑪その他の市内公共施設 (施設名)
⑫金融機関・郵便局 ⑬その他 ()

(3) 困る時には、どのようにされていますか。(1つに○印)

- ①タクシーを利用する ②家族・友人などに車で送迎してもらう
③鉄道・バスなどの公共交通機関を利用する
④徒歩または自転車で移動する ⑤外出するのをあきらめる
⑥その他 (具体的)

問6 自分で自動車を運転される方にお聞きします。

→自動車を運転されない方は問7へお進み下さい

(1) 運転について、どのようにお考えですか。(1つに○印)

- ①運転は苦にならない
②運転に苦痛・不安を感じはじめているので、できれば控えたいが、他に変わる交通手段がない
③自分で運転することを控えている
④その他 (具体的)

(2) 何歳まで運転を続けると考えていますか。(1つに○印)

- ①65歳未満 ②65～74歳 ③75～84歳 ④85歳以上

4 市内循環バスについてお聞きします。

問7 外出時の交通手段に、市内循環バスを利用していますか。(1つに○印)

- ①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日
⑤月に1日以下 ⑥その他 () ⑦市内循環バスは利用していない

→「⑦市内循環バスは利用していない」と回答された方は問12へお進み下さい。

問8 主にどの路線を利用していますか。(1つに○印)

- ①東循環 ②西循環 ③東西循環 (内回り) ④東西循環 (外回り)

問9 主にどのような目的で市内循環バスを利用していますか。(2つまで○印)

- ①通勤 ②通学 ③買物 ④通院 ⑤公共施設利用
⑥遊び・趣味等 ⑦金融機関利用 ⑧その他

問10 平成28年2月1日より1年間の社会実験として、桶川市内循環バス『べにばな60』と上尾市内循環バス『ぐるっとくん』の大石桶川線が、桶川駅西口において無料で乗り継ぎが可能となっています。このことについてお聞きします。

- ①知っている ②知らなかった

→「②知らなかった」と回答された方は問13へお進み下さい。

問11 問10で「①知っている」とお答えの方にお聞きします。

(1) どのくらいの頻度で利用していますか。(1つに○印)

- ①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日
⑤月に1日以下 ⑥その他 ()
⑦利用していない

→「⑦利用していない」と回答された方は問13へお進み下さい。

(2) 上尾市内循環バスに乗り継いで、主にどちらまで行かれていますか。

- ①上尾駅周辺 ②北上尾駅周辺 ③上尾中央総合病院
④その他 ()

→問13へお進み下さい。

問12 問7で「⑦市内循環バスは利用していない」とお答えの方にお聞きします。

(1) 市内循環バスを利用しない理由は何ですか。(2つまで○印)

- ①バスの運行本数が少ないため ②目的地へ行くバスがないため
③バスの運行時間帯が合わないため ④バス停留所が自宅近くにならないため
⑤目的地まで所要時間がかかるため ⑥バスの行先や利用方法が分かりにくいいため
⑦家用車 (位)で移動するため ⑧バイクや自転車、徒歩で移動しているため
⑨その他 ()

(2) 版に上記(1)①～⑤などの条件・サービスが改善すれば、利用しようと思いませんか。
(1つに○印)

①利用すると思う ②利用しないと思う ③分からない

問 13 現在市内で運行中の「市内循環バス」の状況について、①～⑧の項目ごとに、あなたのお考え(利用していない方はイメージ)に最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。

市内循環バスの状況について	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
① 運行本数について	1	2	3	4	5
② 運行時間帯について	1	2	3	4	5
③ 行き先について	1	2	3	4	5
④ 運行時刻の定時性(正確さ)について	1	2	3	4	5
⑤ J.R.との乗継ぎのしやすさ	1	2	3	4	5
⑥ バス停留所の待合空間(屋根、ベンチ)について	1	2	3	4	5
⑦ 時刻表・路線図等の運行情報案内	1	2	3	4	5
⑧ 全般のサービスについて	1	2	3	4	5

5 市内循環バスへの要望についてお聞きします。

問 14 市内循環バスの利用をより一層高めるためには、どのような取組が必要かと思いませんか。(2つまでに○印)

①運行ルート(行き先)の変更・見直し
 ◎どこを経由するようになればよいと思いませんか。
 経由してほしい場所 ()
 具体的に

②運行本数の増便

③運行時間帯の拡大
 ◎始発と終発どちらが拡大するとよいと思いませんか。
 イ. 始発 ()
 ロ. 終発 ()
 ハ. 始発・終発の両方 ()

④鉄道との乗継が便利なダイヤ設定

⑤隣接市のコミュニティバス等との接続

⑥所要時間の短縮
 ◎どのくらいの所要時間になるとよいと思いませんか。() 分程度

⑦バス停・携帯電話等への運行状況の提供

⑧バス停留所に屋根・ベンチの整備

⑨バス停留所に駐輪場の整備

⑩運行情報案内(マップ等)の充実

⑪その他 ()

補川市では、市内循環バスの運行について、運賃収入でまかなえない必要経費として、年間約5,500万円の税金を充当しています。それを踏まえ、以下の設問にお答えください。

問 15 循環バスの利便性の向上に伴う運行経費等の負担増について、どのようにお考えですか。(1つに○印)

①税金の充当が増額となってもやむを得ない

②利用者の負担(運賃)を上げてでもよい

③自ら率先して循環バスを利用し、負担増解消に協力することがよい

④その他(具体的に ())

問 16 運賃についてお聞きします。今後、循環バスの利便性等が向上した場合を含め、1回の乗車運賃(現行:1回100円)は、いくらが妥当とお考えですか。(1つに○印)

①100円 ②150円 ③200円 ④250円 ⑤その他()

問 17 今後、市内循環バスを含む公共交通の利用促進を図るためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。(3つまで○印)

①路線バス等の運行ルートや時刻表、乗り方案内等を掲載した公共交通マップの作成・配布

②市のホームページや広報誌等への運行情報案内の掲載

③パソコン・スマートフォン等への時刻表、乗継情報等の提供

④観光施設や商業施設等と連携した公共交通案内キット等の発行

⑤公共交通の意識向上を旨むよう、地域懇談会やシンポジウム等の開催

⑥幼稚園や小中学生等を対象としたバスの乗り方教室等の開催

⑦バス停の待合環境(ベンチ、上屋)の設置

⑧バス停の分かりやすい運行情報案内(時刻表、系統図等)の表示改善

⑨バス停に駐輪場を設置

⑩鉄道やバス、バス同士との乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入

⑪バス車両のバリアフリー化やデザイン性の工夫

⑫自動車から公共交通への転換を自動的に促すエコ通勤キャンペーン等の実施

⑬その他(具体的に ())

最後に、市内循環バスに関するご意見・ご要望等がございましたら、次の空欄にご記入をお願いします。

()

ご協力をいただきありがとうございます。お手数ですが返信用封筒に入れ、ご投函をお願いします。

